

VP2730

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、VP2730 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2021 年 2 月 3 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②型番 CL からはじまる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	3年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

【補足】

- 本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも関わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
EMC に関する情報.....	4
RoHS.....	4
安全にお使い頂くために.....	5
全般	5
ラックマウント	7
同梱品.....	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
概要	11
特長	12
セットアップの計画.....	14
システム要件	14
オプション品.....	14
アクセサリ	14
第2章 セットアップ方法.....	15
製品各部名称	15
フロントパネル	15
リアパネル.....	16
IR リモコン	18
LED 表示	20
マウント方法.....	21
ラックマウント	21
アンダーデスクマウント	22
セットアップ方法.....	23
第3章 ローカル操作	25
概要.....	25
操作に関する注意事項	25

表示ソースの切替	26
IR リモコン/フロントパネルのボタンを使用する場合	26
OSD を使用する場合	28
OSD	29
特定のディスプレイで OSD を起動するには.....	29
概要	29
マルチビューを有効にするには	33
表示モードの変更	35
司会モード(リモート画面操作)	37
フロントパネルのロック	38
システム設定	39
第 4 章 リモート操作	43
概要	43
対応 Web ブラウザ	43
VP2730 の IP アドレス.....	44
参加者のアカウント	45
参加者アカウントによるログイン	45
参加者アカウントの画面	46
画面やアプリケーションウィンドウの共有	47
管理者のアカウント	50
管理者アカウントによるログイン	50
管理者アカウントの画面	52
システム設定	54
リモートパッドの設定	66
第 5 章 RS-232 シリアルコマンド	71
概要	71
セットアップ	71
コマンドの表記法	72
RS-232 コマンド	73
第 6 章 ビデオプレゼン制御アプリ	83
概要	83
対応システム	83
iOS 版	85
メイン画面	85
会議への参加	87
会議画面	91

コントロールパネル	96
ビデオパネル	97
ディスプレイに対するソースの切替	97
ディスプレイの特長と設定	98
ソースの設定	102
オーディオパネル.....	103
詳細 VP 設定	105
全般	106
ソース	107
OSD 通知	108
情報	109
Android 版.....	110
メイン画面.....	110
会議への参加	112
会議画面.....	116
コントロールパネル	121
ビデオパネル	122
ディスプレイに対するソースの切替	122
ディスプレイの特長と設定	123
ソースの設定	127
オーディオパネル.....	128
詳細 VP 設定	130
全般	131
ソース	132
OSD 通知	133
情報	134
付録.....	135
製品仕様.....	135

EMC に関する情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

CE による注意:本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 の規定に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。

1. 本製品による有害な干渉が発生しない。
2. 本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を全て受け入れる。

提案:FCC および CE 規格を確実に順守するために、STP ケーブルを使用するようにしてください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせ適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には

何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。
- ◆ 本製品をスタッキングする場合、ラックにロックする場合、フレームにネジ止めする場合やその他類似の方法で設置を行う場合には、製品を確実に固定するための安全装置が追加で必要になることがあります。
- ◆ 本製品は固定させて使用するよう設計されているため、通常の動作中には動かさないようにしてください。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

VP2730 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ VP2730 7入力3出力プレゼンマトリックスシームレススイッチャー
(スクーラー/オーディオミキサー内蔵、ストリーミング/HDBaseT 対応) ×1
- ◆ IR レシーバー ×1
- ◆ IR リモコン ×1
- ◆ 電源ケーブル ×1
- ◆ ターミナルブロック ×2
- ◆ フットパッド ×4
- ◆ クイックスタートガイド* ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、VP2730 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。マニュアルは下記のとおり構成されています。

第1章 はじめに:VP2730 を紹介します。特長、機能概要、およびセットアップ計画時に注意すべき点について説明します。

第2章 セットアップ方法:VP2730 および付属の IR リモコンの製品各部名称と、製品本体を安全かつ手早くセットアップする方法について説明します。

第3章 ローカル操作:パネルボタンや IR リモコンを使ってローカル側から VP2730 を操作したり設定したりする方法について説明します。

第4章 リモート操作:オンライン会議への参加や、システムの設定といったリモートタスクを、VP2730 の Web インターフェースから実行する方法について詳しく説明します。

第5章 RS-232 シリアルコマンド:シリアルコントローラーを使って VP2730 を操作する際に使用できる機能および RS-232 コマンドについて説明します。

第6章 ビデオプレゼン制御アプリ:ATEN ビデオプレゼン制御アプリ(iOS 版/Android 版)を使ってシステム設定を遠隔から定義する方法について説明します。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→ 矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

VP2730 は、ビデオマトリックススイッチャー、スケーラー、ストリーミング、オーディオミキサー、HDBaseT エクステンダー、そしてアナログ→デジタルコンバーターの各機能を、1 台のコンパクトなデバイスに集約したマルチ・イン・ワンのプレゼンスイッチャーです。本製品は、7 系統の複数フォーマット入力から任意に選択された信号を、2 系統の HDMI および 1 系統の HDBaseT に出力できるため、大規模な会議をはじめ、役員室、会議室、講堂、またはサテライト教室などの場所で、ローカルとリモートの参加者が円滑にコミュニケーションするのに役立ちます。

VP2730 はユーザーの操作性を考慮し、わかりやすく、アクセスしやすい OSD と Web GUI を搭載しています。VP2730 を導入すれば、会議のビデオコンテンツを最大 5 拠点で共有できるだけでなく、リモート/ローカルの参加者がコンテンツをワイヤレスでストリーミングしながら話し合いを進めることができるため、メンバーの場所を気にせず情報を共有し、スムーズに共同作業を進めることができます。また、進行役は最大 6 ソースを 1 画面に表示しながら、各種表示モード(フルスクリーン、デュアルビュー、トリプルビュー、クワッドビュー)からお使いの環境に適したものを選択して、ソースコンテンツを監視したり切り替えたりすることができます。

VP2730 には、司会進行役がホストディスプレイを介して他のディスプレイを制御できる「リモート制御機能」、会議でのコミュニケーションに役立つ「チャットルーム機能」に加えて、会議の流れを記録する「画面キャプチャ機能」や、進行を管理する「フリーズ機能」など、高度な会議管理機能を提供できるのも特長です。このプレゼンソリューションは、高品質なオーディオを含むコンテンツを、距離を意識させることなく共有できるため、多くの機器を個別に準備する必要性を解消して A/V をよりシンプルに統合するとともに、準備時に発生しうる互換性の問題を解消することができます。

特長

マルチフォーマット AV をシンプルに切替

- ◆ 7 系統のマルチフォーマット入力に対応
 - 2 系統のコンボ入力 (HDMI/VGA、HDMI/DisplayPort)
 - 3 系統の HDMI 入力
 - 2 系統の HDMI および 1 系統の HDBaseT 出力
- ◆ 解像度 - 最大 1080p@60Hz (HDMI/DisplayPort)
- ◆ ウルトラスームレス切替機能 - 遅延することなく 0 秒に限りなく近い速度で切替処理を行うため、連続的なビデオストリーミング、リアルタイム切替、および安定した信号伝送を実現
- ◆ スケーラー機能 - ビデオスケーリング機能により、入力解像度を最適な表示解像度に変換
- ◆ 自由度の高いアスペクト比変換機能

1080p のストリーミングで距離を意識させない協業環境を構築

- ◆ Go Live 機能 - 会議の進行役はフル HD ビデオストリームを最大 5 箇所の拠点にブロードキャスト可能
- ◆ ストリーム入力 - リモート側の場所にかかわらず、直感的な Web GUI を使ってコンテンツのストリーミングを進行役と共有可能
- ◆ ストリーミングのキューイング - 進行役が承認したストリーム入力コンテンツを 1 回につき 1 種類ずつ共有できるため会議の進行がスムーズに

オーディオミキサー統合で高度なアプリケーションに対応

- ◆ オーディオミキサー機能 - マイク入力を外部アナログまたはオーディオ出力デバイスとミキシング可能
- ◆ エンベデッド/ディエンベデッドオーディオ - HDMI/DisplayPort オーディオ信号は抽出してデジタル/アナログオーディオ信号へと個別に抽出可能。マイク/ラインオーディオは HDMI オーディオにエンベデッド可能
- ◆ 同軸、Toslink、RCA といったマルチフォーマットのデジタル/アナログオーディオ出力に対応

高度な会議管理機能で連携をスムーズに

- ◆ マルチビュー - 表示モードをフルスクリーン、デュアルビュー、クワッドビューの各モードから選択し、最大 6 ソースを同時に表示し切り替えることが可能
- ◆ 司会モード - 会議進行役はホストディスプレイから他のディスプレイを管理可能
- ◆ チャットルーム機能 - リモートの参加者間においてリアルタイムで密なコミュニケーションを実現

現

- ◆ 画面キャプチャ機能 - 画面に表示されたものをクリック1つでキャプチャ
- ◆ フリーズ機能 - 討論や会議進行の管理用に画面を静止

スムーズな操作性

- ◆ ビデオマトリックススイッチャーコントロールアプリを使用することにより、映像機器へのアクセス性と操作性が向上
- ◆ 各種操作オプション - Web GUI、フロントパネル、OSD、IRリモコン、RS-232 シリアルコマンドで柔軟に操作
- ◆ 自動切替 - 入力ソースがない際に新しいソースが接続されると自動的に検出し切替処理を行うため、時間の節約と利便性の向上が可能

セットアップの計画

システム要件

VP2730 をセットアップする前に、下記をご用意ください。

- ◆ ソースデバイス
 - ▶ HDMI、DisplayPort、または VGA インターフェースのポートを搭載したソースデバイス 1～5 台(例:ノートパソコン、PC、Blu-ray ディスク)

- 注意:** VP2730 は、Mac や PC (Windows、Linux、または UNIX ベースのコンピューター)に対応しています。

- ▶ ソースデバイスを VP2730 に接続するケーブル 1～5 本
- ◆ ディスプレイ
 - ▶ HDMI コネクタまたは HDBaseT ポートを搭載したディスプレイ(例:モニターやプロジェクター) 1～3 台
 - ▶ ディスプレイを VP2730 に接続するケーブル 1～3 本

各接続インターフェースのポート数に関する詳細は、p.135「製品仕様」をご参照ください。

オプション品

必要に応じて、下記をご用意ください。

- ◆ マイク 1 台
- ◆ スピーカー 1 台
- ◆ VP2730 をネットワークスイッチに接続する RJ-45 ケーブル(ネットワーク経由でのストリーミングや VP2730 の Web インターフェースへのアクセスに必要) 1 本
- ◆ 外部ストレージとして使用する USB ドライブ 1～3 台
- ◆ シリアル制御用 RS-232 コントローラー 1 台

アクセサリ

次のアイテムはオプションでご利用いただけます(別売)。

- ◆ ラックマウントキット
- ◆ アンダーデスクマウントキット

製品本体のマウントに関する詳細は、p.21「マウント方法」を参照してください。

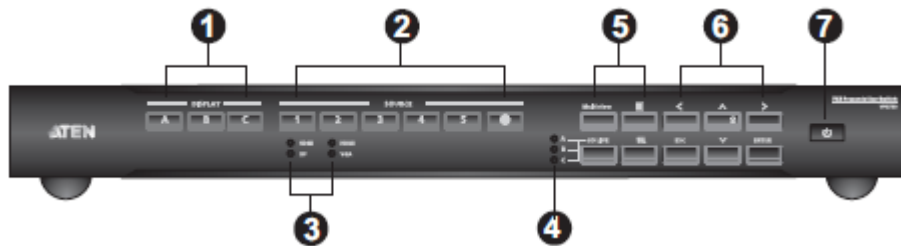
第2章 セットアップ方法




1. 機器の設置に際し重要な情報を p.5 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 必要なハードウェアがすべて正しく接続されていることを確認してから、VP2730 の製品本体に電源を入れるようにしてください。

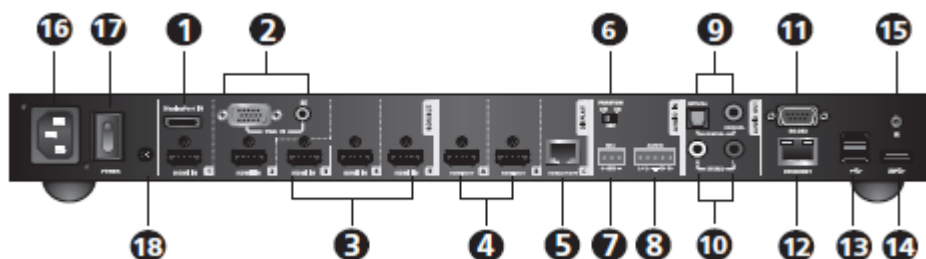
製品各部名称

フロントパネル



No.	名称	説明
1	表示選択ボタン	このボタンを押すと、ディスプレイを選択します。選択されているディスプレイのボタンはオレンジに点灯します。
2	ソース選択ボタン	このボタンを押すと、選択されたディスプレイに対してソースを指定します。選択されているソースのボタンはグリーンに点灯します。また、  を押すと、ビデオソースをインターネット上にストリーム配信します。
3	ソース LED	ソース 1 やソース 2 に対して選択されたソースを表します。
4	Go Live LED	ストリーム出力されたディスプレイを表します。
5	機能ボタン	このボタンを押すと、マルチビュー、メニュー、Go Live 設定やミュート設定にアクセスできます。
6	ナビゲーションボタン	OSD の選択項目を上下に移動します。
7	ON/OFF ボタン	このボタンを押すと、製品本体の電源を ON/OFF にします。

リアパネル

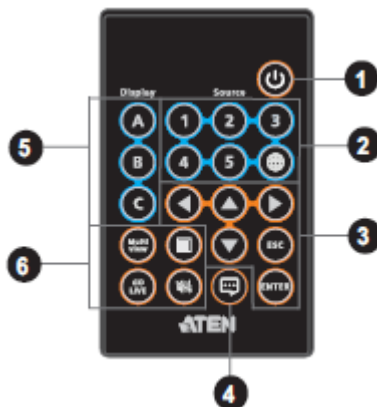


No.	名称	説明
1	ソース 1	最大 2 台のソースデバイス (DisplayPort と HDMI が各 1 台) を接続することができます。表示対象となるソースは、フロントパネルのソース選択ボタンを使って選択することができます。
2	ソース 2	最大 2 台のソースデバイス (VGA と HDMI が各 1 台) を接続することができます。表示対象となるソースは、フロントパネルのソース選択ボタンを使って選択することができます。
3	ソース 3、4、5	HDMI ケーブルで HDMI ソースデバイスを接続します。
4	HDMI 出力	HDMI ポートを搭載したディスプレイを接続します。
5	HDBaseT 出力	HDBaseT ポートを搭載したディスプレイを接続します。
6	ファンタム電源	コンデンサーマイクへのファンタム電源の供給を、有効または無効にします。
7	マイク入力	マイクを接続します。
8	バランスオーディオ入力	バランスアナログオーディオのソースを接続します。
9	デジタルオーディオ出力	光オーディオ出力ポート、または同軸オーディオ出力ポートを介してスピーカーを接続します。
10	ステレオオーディオ出力	スピーカーを接続します。
11	RS-232 シリアルポート	ハードウェアまたはソフトウェアコントローラーを接続して、シリアルデータを伝送します。
12	イーサネットポート	オーディオ/ビデオのデータをネットワーク上にストリーミングできるように、RJ-45 ケーブルを使ってネットワークスイッチに接続します。

(表は次のページに続きます)





No.	名称	説明
13	USB Type-A (2.0)ポート	USB 2.0 デバイス(最大 2 台)を外部ストレージとして接続します。
14	USB Type-A (3.0)ポート	USB 3.0 デバイスを外部ストレージとして接続します。
15	IR レシーバーポート	IR レシーバーに接続し、IR リモコンからの IR 信号を受信します。
16	電源ソケット	製品本体に給電する電源ケーブルを接続します。
17	電源スイッチ	製品本体の電源を ON または OFF にします。
18	グラウンドターミナル	電圧変化や静電気による機器の破損を防ぐために、このポートを使って製品本体を接地します。

IRリモコン



No.	名称	説明
1	ON/OFF ボタン	製品本体の電源を ON または OFF にします。
2	ソースボタン	このボタンを押すと、接続されたディスプレイに対してソースを選択します。
3	ナビゲーションボタン	OSD の選択項目の上下移動、オプションの選択/選択解除、現在の画面における操作の終了を行います。
4	通知ボタン	通知パネルを開くと、システムの状態、デバイスの接続、およびユーザー設定の各ログが表示されます。 注意: デバイスパネル、OSD、Web インターフェースのいずれかを使ってシステム設定が行われた場合、OSD の右上にテキストメッセージを表示することで通知が行われます。このメッセージ自体もログとして記録され、通知パネルに保存されます。ポップアップ表示される通知メッセージの受信を停止し、メッセージを通知パネルにだけ保存しておきたい場合は、「 System Settings 」(システム設定) > OSD の「 Notifications 」(通知)に進み、「 Web General 」(Web 全般)の「 System General 」(システム全般)で設定を行ってください。
5	表示ボタン	このボタンを押すと、ディスプレイを選択します。

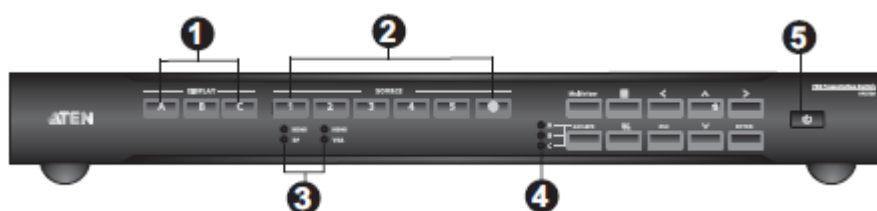
(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
6	機能ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="564 387 1345 510">◆  : OSDを表示します。このボタンをもう一度押すと OSDを終了します。 <li data-bbox="564 533 1198 595">◆  : 現在の表示をマルチビューに切り替えます。 <li data-bbox="564 618 1305 680">◆  : 現在の表示をイーサネット上にストリーム出力します。 <li data-bbox="564 703 1023 766">◆  : 現在の表示をミュートします。

LED 表示

製品本体には、下図のように LED が搭載されています。LED 表示の詳細については下表を参照してください。

フロントパネル



リアパネル



No.	LED	表示	動作状況
1	表示ボタン	オレンジに点灯	LED が点灯しているディスプレイ(ディスプレイ A、B、C のいずれか)が選択されています。
2	ソースボタン	グリーンに点灯	LED が点灯しているソースが表示対象として選択されています。
3	ソース LED	グリーンに点灯	LED が点灯しているソース(インターフェース)が、コンボポートの出力として選択されています。
4	Go Live LED	オレンジに点灯	LED が点灯しているディスプレイが、ストリーム出力先として選択されています。
5	電源ボタン	グリーンに点灯	製品本体の電源は ON です。
		オレンジに点灯	製品本体は電源には接続されているものの、 OFF になっています。
6	ACT (左 LED)	オレンジに点灯	データが 100Mbps の速度で転送されています。
		グリーンに点灯	データが 1Gbps の速度で転送されています。
	Link (右 LED)	グリーンに点灯	LAN に接続されているものの、データは転送されていません。
		グリーンに点滅	LAN に接続し、データが転送されています。

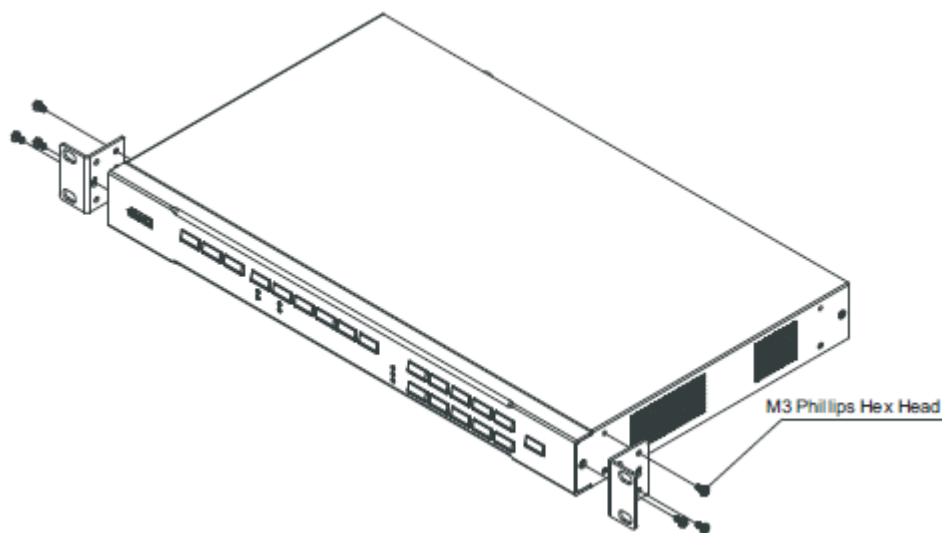
マウント方法

ラックマウント

VP2730 は 19 インチラックに 1U サイズでマウントできる製品です。ローカル側からフロントパネルのボタンを使って設定や操作が簡単に行えるよう、製品のフロント側がラックのフロント側にくるように製品本体をマウントしてください。

注意: 本体の取り付けに必要となるラックマウントキットは、製品パッケージに同梱されていません。このキットの購入に関する詳細は、弊社 Web サイトにおける VP2730 製品ページをご確認ください。

1. マウントキットに付属している M3 プラスネジ(6 本)を使って、ラックマウント用ブラケットを製品本体のフロント側の側面に取り付けてください。



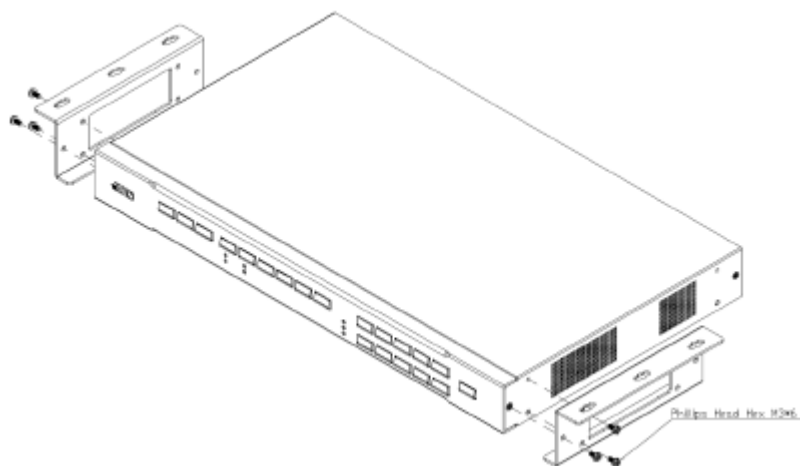
2. ブラケットを取り付けた製品を、ラックのフロント側に移動させ、ブラケットのねじ穴がラックのねじ穴に合うように位置を調節してください。
3. ブラケットをネジでラックに固定してください。

アンダーデスクマウント

VP2730 は、アンダーデスクマウントキットを使えば、テーブルの下に取り付けることもできます。

注意: 本体の取り付けに必要となるラックマウントキットは、製品パッケージに同梱されていません。このキットの購入に関する詳細は、弊社 Web サイトにおける VP2730 製品ページをご確認ください。

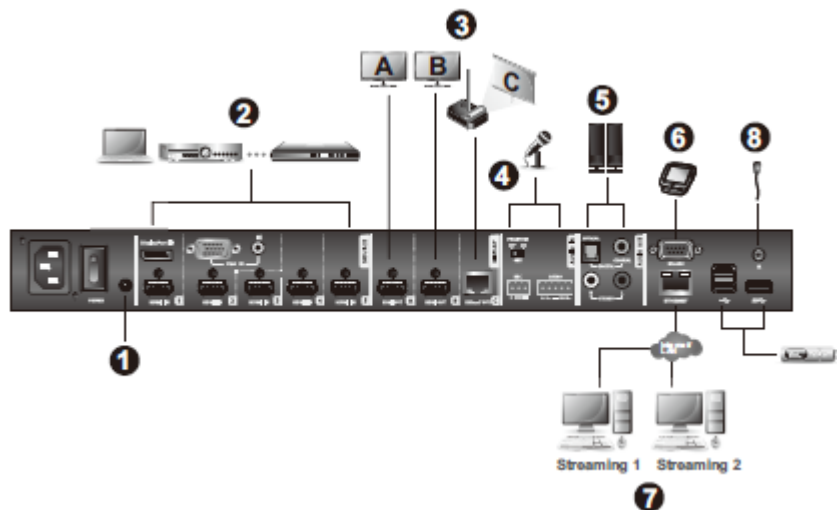
1. マウントキットに付属している M3 プラスネジ(6 本)を使って、ラックマウント用ブラケットを製品本体のフロント側の側面に取り付けてください。



2. テーブルの下で、本体フロントパネルのボタンが操作しやすい位置を決めたら、この場所にマウント用ブラケットをネジ止めすることで製品本体を取り付けてください。

セットアップ方法

下記の手順に従って、ソースデバイス、ディスプレイ、または、その他のデバイスを、安全な方法で VP2730 に接続し、セットアップ作業を行ってください。



1. 接地線の片方の端を接地ターミナルに、もう片方の端を適切な接地物にそれぞれ接続して、製品本体の接地を行ってください。

注意: この手順は省略しないでください。適切な接地をすることで電圧変化や静電気による機器の破損防止に一定の効果があります。

2. お使いのソースデバイスを VP2730 に接続してください。

注意: ソース 1 とソース 2 には、それぞれ 2 台のソースデバイスを接続することができますが、一度に出力できるのは 1 台です。

3. ディスプレイを製品本体に接続してください。
 - a) HDMI ディスプレイを、HDMI ケーブルで HDMI 出力ポートに接続してください。
 - b) HDBaseT ディスプレイを、Cat5e/6/6a ケーブルで HDBaseT 出力ポートに接続してください。

注意: 1080p 信号の延長距離は、Cat5e/6 ケーブルを使った場合は最大 60m、また、標準的な Cat6a ケーブルや ATEN 製 Cat6a ケーブル 2L-2910 を使った場合は最大 70m となります。

4. マイクを、VP2730 のマイク入力ポートに接続してください。

注意: ◆ コンデンサーマイクを使用する場合は、ファンタム電源スイッチを **ON** にしてください。

◆ オーディオ入力仕様の詳細は p.135「製品仕様」を参照してください。

5. スピーカーを、デジタルオーディオ出力ポート(アンプとコンバーター経由)またはステレオオーディオ出力ポートに接続してください。

注意: オーディオ入力仕様の詳細は p.135「製品仕様」を参照してください。

6. 製品本体の設定をRS-232 インターフェース経由で変更する場合は、製品本体をハードウェアまたはソフトウェアコントローラーに接続してください。
7. ネットワークへのストリーミングを行う場合は、製品本体のイーサネットポートとネットワークスイッチをRJ-45 ケーブルで接続してください。
8. 製品本体をIRリモコンから操作できるよう、製品同梱のIRレシーバーをIRレシーバーポートに接続してください。
9. VP2730 の電源ソケットを電源ケーブルで電源に接続したら、製品本体の電源スイッチを **ON** にしてください。
10. 接続デバイスの電源を **ON** にしてください。

第3章

ローカル操作

概要

本章では、VP2730 の OSD 機能、また、フロントパネルのボタンや IR リモコンを使ってローカル側から製品本体を操作する方法について、詳しく説明します。OSD からは次の操作を行うことが可能です。

- ◆ 表示ソースの切替
- ◆ 表示モード、解像度、アスペクト比の設定変更
- ◆ ネットワーク接続を介した現在表示のストリーム出力 (Go Live 機能)
- ◆ VP2730 の主要システム設定の変更
- ◆ VP2730 のシステム環境における別画面のリモート操作 (司会モード)
- ◆ 画面キャプチャの作成
- ◆ 画面のフリーズ

操作に関する注意事項

- ◆ IR リモコンは、有効範囲 (製品本体から 6m 以内) から操作してください。また、リモコンと IR レシーバーの間に遮るものがないことを確認してください。
- ◆ IR リモコンと VP2730 のフロントパネルの操作には互換性があります。使いやすい方法で操作してください。

表示ソースの切替

表示ソースは、IRリモコン、フロントパネルのボタン、OSD を使って切り替えることができます。各接続ディスプレイに対して、OSD のソース一覧を使って 7 台のソースデバイス(チャンネル)から選択することができます。各ソースの内容は下表で説明しています。

OSD ソース一覧	説明
Source 1～5 (ソース 1～5)	ソース 1～5 は VP2730 に接続されているソースに対応しています。
Source 6 (ソース 6)	ソース 6 は、インターネット上でストリーム入力されるソースに対して予約されているチャンネルです。ストリーム入力ソースは、表示対象として選択できるオプションとして一覧表示されます。ソースコンテンツの共有に関する詳細は、p.47「画面やアプリケーションウィンドウの共有」を参照してください。
Multiview (マルチビュー)	これは、複数のソースを選択したり合成ビューを作成したりできるマルチビューチャンネルです。詳細については、p.33「マルチビューを有効にするには」を参照してください。

IR リモコン/フロントパネルのボタンを使用する場合

1. 「Display」(表示) ボタンを使ってディスプレイを選択してください。選択されたディスプレイに対応したボタンがオレンジに点灯します。




2. 「Source」(ソース)ボタン、または「Multiview」(マルチビュー)ボタンを押して、ソースを選択ディスプレイに割り当ててください。選択されたソースに対するボタンがグリーンに点灯します。




-
- 注意:**
- ◆ コンボポート(ソース1 およびソース2)では、ポート出力に HDMI ソースが優先的に使用されます。優先順位を変更する場合は、OSD で「Source」(ソース)の設定を変更してください。詳細については、p.39「システム設定」を参照してください。コンボポートの出力ソースを手入力に変更する場合は、「Display」(表示)ボタンを押してから、「Source」(ソース)ボタンを 2 回連続して押してください。そうすると、選択ソースに対応したボタンがグリーンに点灯します。
 - ◆ マルチビューに関する詳細は、p.33「マルチビューを有効にするには」を参照してください。
-

OSD を使用する場合

1. IRリモコンで  ボタンを押して、ソース変更の対象となるディスプレイの OSD を起動してください。そうすると、OSD が画面上に表示されます。



2. フルスクリーンのソースに切り替えるには、左右のナビゲーションボタンを使ってください。操作したとおりにソースがモニター上に表示されます。
3. マルチビューに切り替えるには、OSDメニューの「**Multiview**」(マルチビュー)に移動し、「**Enter**」
 ボタンを押してマルチビュー表示を行ってください。マルチビューに関する詳細は、p.33「マルチビューを有効にするには」を参照してください。



注意:

- ◆ ソースオプションは、デフォルトの名前に表示されます。この名前を変更するには、VP2730 の Web インターフェースに管理者としてログインし、「**Video & Audio**」(ビデオ&オーディオ) > 「**Source**」(ソース)に進んでください。
- ◆ その他の OSD 機能に関する詳細は、p.29「OSD の起動」を参照してください。

OSD

特定のディスプレイで OSD を起動するには

OSD メニューが特定のディスプレイに表示されている場合、各接続ディスプレイは OSD 経由でのみ設定が可能です。OSD を起動するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. 「Menu」(メニュー)  ボタンを押してください。この時、前回メニューを終了した際に使用していた OSD メニューがディスプレイに表示されます。
2. 別のディスプレイで OSD を起動するには、もう一度「Menu」(メニュー)  ボタンを押してください。そうすると、OSD メニューがすべての接続ディスプレイで順番に切り替わります。

概要




OSD では次のコントロールが使用できます。






OSD で利用可能なコントロールは下表のとおりです。

No.	名前/情報	説明
1	接続情報	VP2730 の Web インターフェースの IP アドレスと部屋コードが表示されます。リモートから会議に参加したり、VP2730 の設定を変更したりするには、Web インターフェースにアクセスしてください。詳細については、p.43「第 4 章 リモート操作」を参照してください。



(表は次のページに続きます)

No.	名前/情報	説明
2	 オプション	<p>このアイコンを選択して「Enter」 ボタンを押すと、下記の機能にアクセスすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 選択ディスプレイのリモート操作を行います。リモートディスプレイの操作に関する詳細は、p.37「司会モード(リモート画面操作)」を参照してください。 ◆ VP2730 における設定の参照や変更を行います。システム設定に関する詳細は、p.39「システム設定」を参照してください。 ◆ VP2730 の電源を OFF にします。
3	表示設定	<p>ディスプレイが接続されているディスプレイポート(A、B、C のいずれか)を識別し、次の情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ デバイス名: デバイス名を変更するには、Web インターフェースに管理者としてログインし、「General」(全般) > 「Device Information」(デバイス情報) にアクセスしてください。 ◆ 自動切替: 新たに検出されたソースへと自動的に切り替えます。このオプションはディスプレイ A のみで利用可能です。 ◆ 解像度: 解像度と比率を編集するには、OSD でこの項目を選択し、「Enter」 ボタンを押してください。 ◆ 表示比率 <ul style="list-style-type: none"> ➤ Scale to whole(全体に引き伸ばす): ディスプレイの上下左右を最大限に引き伸ばします。 ➤ Auto fit(自動調整): コンテンツを画面に収めながら、ディスプレイに合うように、ビデオを相対的にスケーリングします。この設定にした場合、画面の上下または左右にブランク部分が残る場合があります。 ➤ Auto cut(自動カット): 画面全体にビデオが表示されるよう、相対的にスケーリングします。この設定にした場合、ディスプレイの範囲内に収まらなかった部分はカットされます。

(表は次のページに続きます)

No.	名前/情報	説明
4	画面キャプチャ	この項目を選択し、「Enter」  ボタンを押すと、画面をキャプチャします。キャプチャされたイメージは、VP2730 の USB ポートに接続されたストレージデバイスに保存されます。この機能を利用する前に、VP2730 にストレージデバイスが接続されていることを確認してください。
5	通知	この項目を選択し、「Enter」  ボタンを押すと、通知パネルが開き、システムの状態、デバイスの接続、および OSD メニューや Web インターフェース経由で行われたユーザー設定のログが表示されます。 注意: デバイスパネル、OSD、Web インターフェースのいずれかを使ってシステム設定が行われた場合、OSD の右上にテキストメッセージを表示することで通知が行われます。このメッセージ自体もログとして記録され、通知パネルに保存されます。ポップアップ表示される通知メッセージの受信を停止し、メッセージを通知パネルにだけ保存しておきたい場合は、「System Settings」(システム設定) > OSD の「Notifications」(通知)に進み、「Web General」(Web 全般)の「System General」(システム全般)で設定を行ってください。
6	ソース一覧	ナビゲーションボタンを押してディスプレイのソースを選択してください。または、「Enter」  ボタンを押してプレビューパネルから選択してください。ソースの選択方法に関する詳細については、p.26「表示ソースの切替」を参照してください。
7	マルチビュー	選択されたディスプレイ(A、B、C のいずれか)に対するマルチビュー表示を有効/無効にします。詳細は p.33「マルチビューを有効にするには」を参照してください。
8	全体のボリューム	VP2730 に接続されているスピーカーのボリュームを設定します。
9	マイクボリューム	出力レベルを調節することで VP2730 に接続されているマイクのボリュームを設定します。

(表は次のページに続きます)




No.	名前/情報	説明
10	フリーズ	この項目を選択し、「Enter」  ボタンを押すと、ビデオをフリーズします。
11	Go Live	<p>「Go Live」 ボタンを押すと、ディスプレイのストリーム出力を行います。VP2730 がネットワークに接続されていない場合、このボタンはグレーで表示されます。</p> <p>重要:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ VP2730 がネットワークに接続されており、そのネットワークのバンド幅が 2MB 以上あることを確認してください。 ◆ VP2730 は最大 5 拠点に対してビデオストリームを配信することができます。
12	日時	システム時刻を表示します。

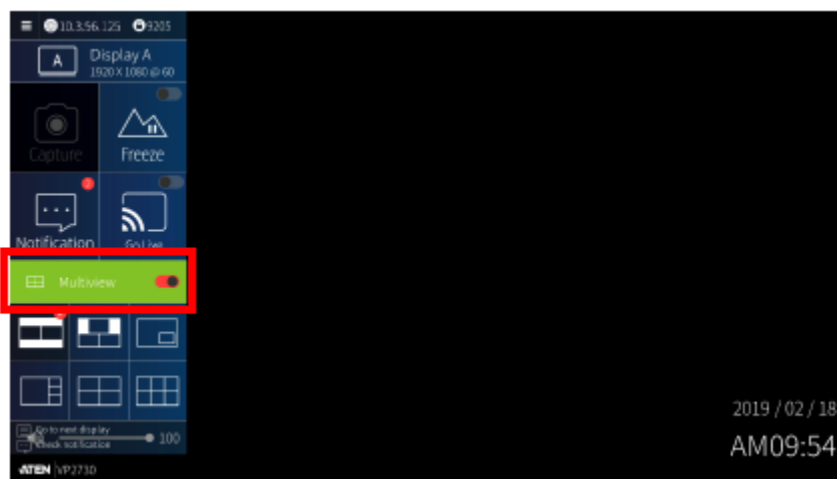
マルチビューを有効にするには


VP2730 では、使用頻度の高いソースを集めて合成表示できるマルチビューを有効にすることができます。

注意: 1台のディスプレイ(A、B、Cのいずれか)で同時に有効にできるマルチビューは一つだけです。


マルチビューチャンネルを有効にするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

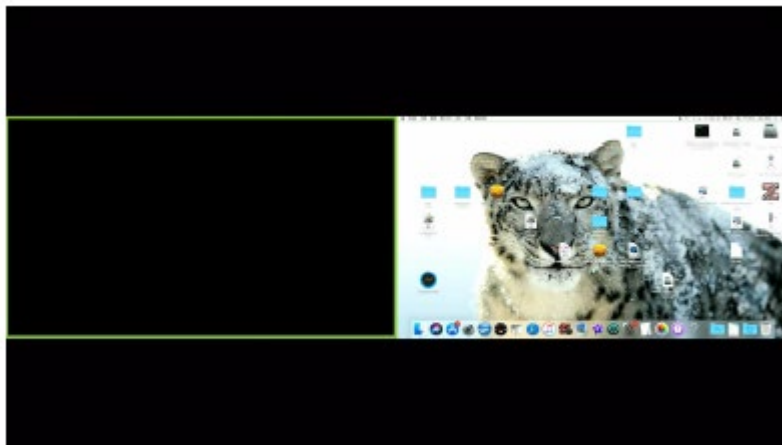
1. 「Menu」(メニュー)  ボタンを押して、マルチビュー表示を行いたいディスプレイのOSDを起動してください。
2. 次のいずれかの方法でマルチビューを有効にしてください。
 - ◆ フロントパネルで「Multiview」(マルチビュー) ボタンを押す。
 - ◆ IRリモコンで「Multiview」(マルチビュー)  ボタンを押す。
 - ◆ OSD で「Multiview」(マルチビュー)に進み、「Enter」  ボタンを押して設定を有効にする。




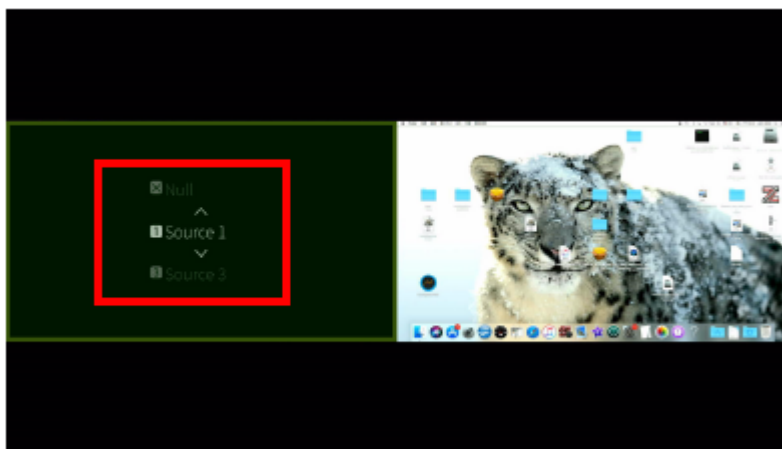
3. マルチビューのレイアウトを変更するには、使用したいレイアウトを選択して「Enter」  ボタンを押してください。そうすると、そのレイアウトへとすぐに切り替わります。

4. マルチビューで使用するソースを変更するには、次の手順に従って操作を行ってください。

- a) 選択したマルチビューレイアウトに移動したら、「Enter」 ボタンを押してください。選択されたチャンネルには緑色の枠が表示されます。



- b) ソースを変更したいチャンネルに移動したら、「Enter」 ボタンを押してソースメニューを開いてください。



- c) 「Up」(上)や「Down」(下)の各ボタンを使ってソースを選択してください。選択されたソースはすぐに適用されます。

表示モードの変更

接続ディスプレイでは、各種表示モードを使って、様々なコンテンツを表示したり、同一のコンテンツを表示したりすることができます。

マトリックスモード






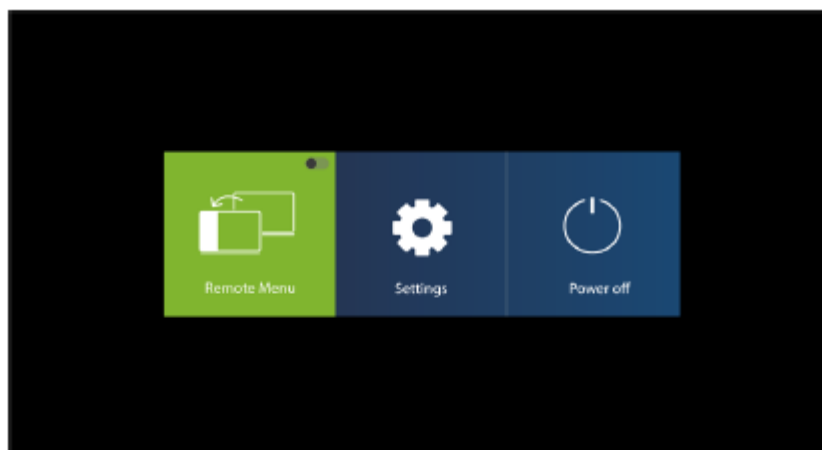
ミラーモード



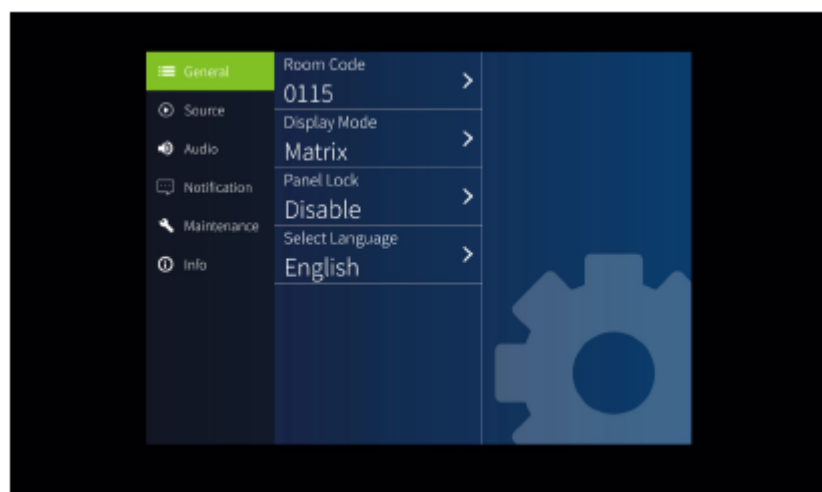
- ◆ **マトリックスモード:**各接続ディスプレイには個別に設定を行って、異なるコンテンツを出力することができます。これはデフォルトモードです。このモードでは、各ディスプレイをそれぞれのOSDパネルで設定します。
- ◆ **ミラーモード:**各接続ディスプレイでは互いにミラーリングを行い、設定も同じになります。このモードでは、任意のディスプレイにおける設定が、VP2730 に接続された他のディスプレイへと自動的に適用されます。

表示モードを変更するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 「Menu」(メニュー)  を押して OSD を起動してください。
2. OSD で  をクリックしたら、「Enter」  ボタンを押してください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



3. 「Settings」(設定)を選択したら、「Enter」  ボタンを押してください。そうすると、下図のような画面が表示されます。






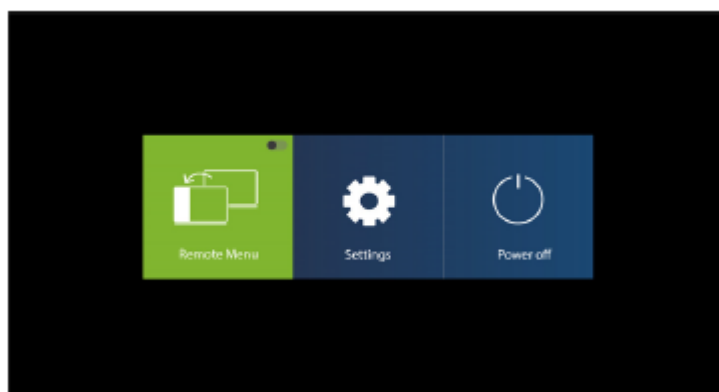
4. 「General」(全般) > 「Display Mode」(表示モード)にアクセスしたら、参照モードを選択してください。この参照モードは、接続ディスプレイに対して、すぐに適用されます。


司会モード(リモート画面操作)

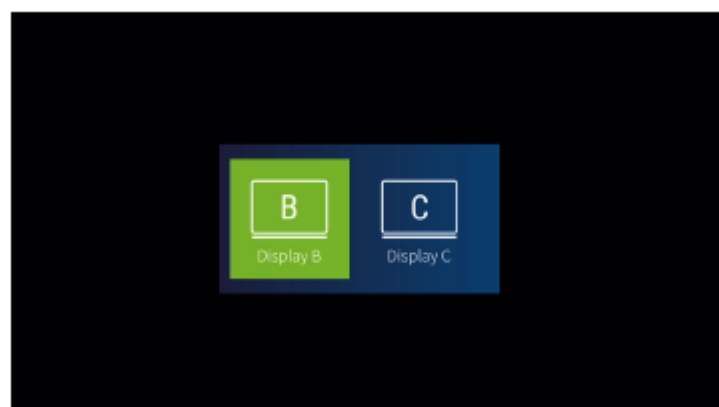
画面の OSD が遠くて、はっきり見えない場合、また、リモート画面のホスト制御が必要な場合は、対象となる画面を自分の近くにあるディスプレイからリモート操作することができます。


リモート操作を有効にするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

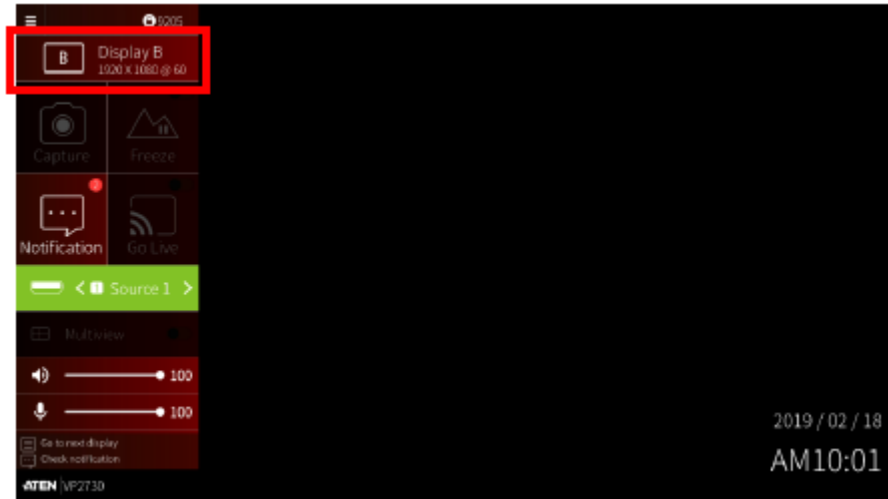
1. 「Menu」(メニュー)  を押して、操作するユーザーの近くにあるディスプレイの OSD を起動してください。
2. OSD で「Menu」(メニュー)  を押したら、「Enter」  ボタンを押してください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



3. 「Enter」  ボタンを押して、リモート操作を有効にしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。




4. 操作したい画面を選択したら、「Enter」 ボタンを押してください。これで、OSD を使って画面をリモートから操作できるようになります。このとき、OSD は赤色に変わり、操作しているディスプレイが表示されます。






5. 操作セッションを終了するには、手順 1 と手順 2 の操作を繰り返して、「Remote Menu」(リモートメニュー)機能を無効にしてください。

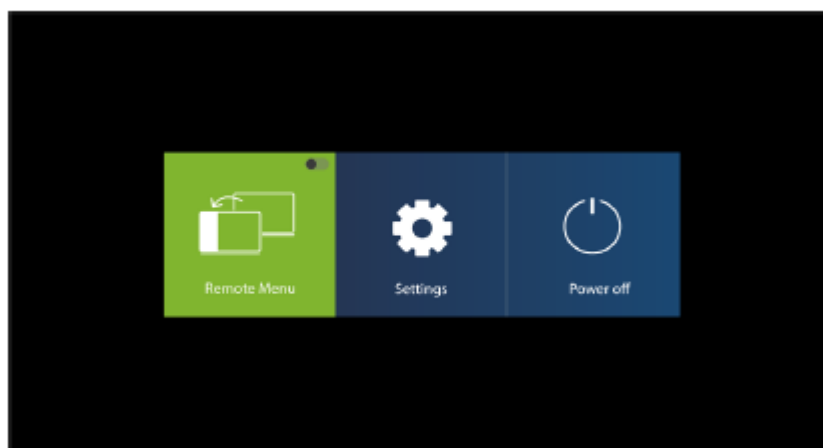
フロントパネルのロック

フロントパネルのボタンをロックしたり、このロックを解除したりするには、「Up」(上)ボタンを 5 秒間長押ししてください。フロントパネルがロックされると、ロックアイコン()が赤色に点灯します。

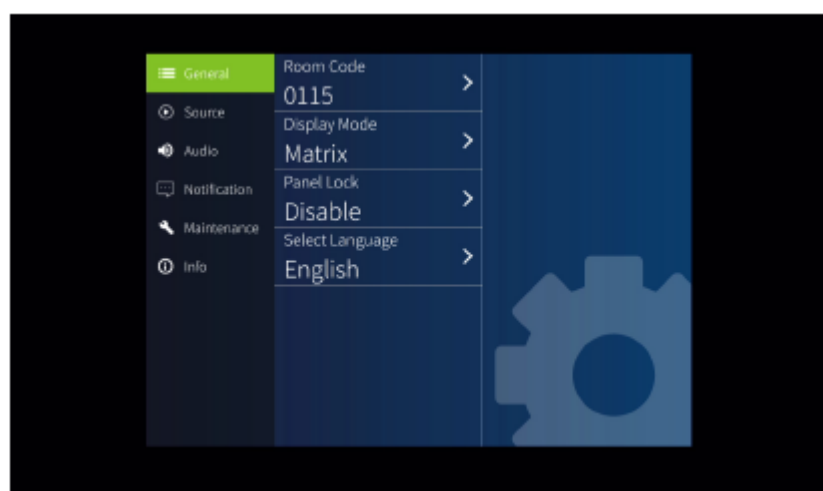
システム設定

システム設定を変更するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 「Menu」(メニュー)  ボタンを押して、設定対象となるディスプレイで OSD を起動してください。
2. OSD で  を選択したら、 を押してください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



3. 「Settings」(設定)を選択したら、「Enter」 ボタンを押してください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



4. 必要に応じて、設定を行ってください。

システム設定			説明
General (全般)	Room Code (部屋コード)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable (無効) ◆ Refresh code (コードの再生成) 	設定を有効にすると、ランダムな部屋コードを生成します。このコードは、VP2730 の Web インターフェース経由で会議に参加するのに必要となります。
	Display Mode (表示モード)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Matrix (マトリックス) ◆ Mirror (ミラー) 	詳細については、p.35「表示モードの変更」を参照してください。
	Panel Lock (パネルのロック)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable (無効) ◆ 5s later (5 秒後) ◆ 30s later (30 秒後) ◆ 5mins later (5 分後) 	OSD のアイドル状態がどれくらい継続した場合にパネルボタンを自動ロックするのかを設定します。
	Select Language (言語の選択)		OSD における表示言語を設定します。
Source (ソース)	Source 1 Selection (ソース 1 選択)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ HDMI ◆ DP ◆ Auto (自動) 	ソース 1/ソース 2 に対して優先されるポートを設定します。「Auto」(自動)を選択すると、最初にソースとして検出された入力優先的に表示されます。
	Source 2 Selection (ソース 2 選択)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ HDMI ◆ VGA ◆ Auto (自動) 	
	EDID	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ATEN Default (ATEN デフォルト) ◆ Display A (ディスプレイ A) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ATEN default (ATEN デフォルト): プリセットされた EDID を、接続ソースへと送信します。 ◆ Display A (ディスプレイ A): 接続ソースに対して、ディスプレイ A の EDID 情報を送信します。

(表は次のページに続きます)

システム設定		説明	
Audio (オーディオ)	Overall Volume (全体の ボリューム)	◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート)	VP2730 に接続されたスピーカーのボリュームを設定します。
	Mic Volume (マイク ボリューム)	◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート)	VP2730 に接続されたマイクのボリュームを、出力レベルの調整によって設定します。
	Gain (ゲイン)	◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-))	VP2730 に接続されたマイクのボリュームを、入力レベルの調整によって設定します。
	Streaming Volume (ストリーミング ボリューム)	◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート)	ストリーム入力されたソースのボリュームを設定します。
	Line-in Volume (ライン入力 ボリューム)	◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート)	VP2730 のソース 2 のオーディオジャックに接続されたソースのボリュームを設定します。
	Media Volume (メディア ボリューム)	◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート)	接続されたソースのボリュームを設定します。

(表は次のページに続きます)

システム設定			説明
Notifications (通知)	Display Time (表示時間)	◆ 3s (3 秒) ◆ 5s (5 秒) ◆ 10s (10 秒)	通知メッセージを OSD にポップアップ表示する時間を設定します。
	Web General (Web 全般)	◆ Disable (無効) ◆ Enable (有効)	Web インターフェース経由で行われた設定変更のポップアップ通知を ON/OFF にします。
	System General (システム全般)	◆ Disable (無効) ◆ Enable (有効)	システムの状態やデバイスの接続状態、また、OSD 経由で行われた設定変更のポップアップ通知を ON/OFF にします。
Maintenance (メンテナンス)	FW Upgrades (ファームウェアアップグレード)		VP2730 のシステムファームウェアをアップグレードします。 注意: アップグレードを実行する前に、ファームウェアファイルを USB ドライブに保存し、このドライブを VP2730 に挿入してください。
	Reset to Default (デフォルトへのリセット)		VP2730 をデフォルト設定に戻します。
Info (情報)	Vender、firmware version、serial number、hardware version、build version (ベンダ、ファームウェアバージョン、シリアル番号、ハードウェアバージョン、ビルドバージョン)		システム情報を表示します。

第4章

リモート操作

概要

VP2730 の Web インターフェースにログインすると、VP2730 経由で行っている会議にリモートから参加したり、VP2730 の設定をリモートから変更したりすることができます。必要に応じて、管理者または参加者として Web インターフェースにログインしてください。これら 2 つのアカウントの権限と最大ログイン数は下表で比較しているとおりです。

操作権限	管理者	参加者
オンライン会議への参加とコンテンツの共有	✓	✓
VP2730 の設定変更	✓	
VP2730 設定のバックアップとリストア	✓	
最大ログイン数	無制限	6

対応 Web ブラウザ

VP2730 の Web UI には、下記の Web ブラウザと OS を使ってアクセスすることができます。


Web ブラウザ	対応バージョン	OS
Chrome	64.0.3282.168	Windows 10
	60.0.3112.113	Windows 10
	64.0.3282.167	Ubuntu 16.04
	60.0.3112.78	Ubuntu 16.04
Firefox	58.0.2	Windows 10
	54.0.1	Windows 10
	58.0.2	CentOS 7.0
	52.4.0	CentOS 7.0
Opera	50.0.6762.67	Windows 10

VP2730 の IP アドレス

VP2730 をネットワークに初めて接続すると、DHCP によって動的 IP アドレスが割り当てられます。ネットワークスイッチが DHCP に対応していない場合は、デフォルトの IP アドレスを使用します。

- ◆ IP アドレスと、その他のネットワークパラメーターのデフォルト設定は下表のとおりです。

ネットワークパラメーター	設定
IP アドレス	192.168.0.60
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
HTTP ポート	80

- ◆ VP2730 の IP アドレスを検索する場合は、IRリモコンで  を押して、OSD を起動してください。そうすると、OSD に IP アドレスが表示されます。



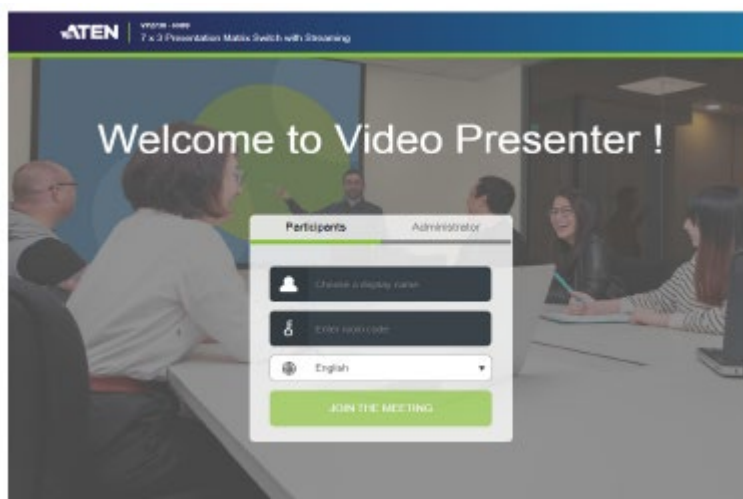
参加者のアカウント

VP2730 の Web インターフェースに参加者としてログインした場合、オンライン会議にリモート接続して下記の操作を行うことができます。

- ◆ VP2730 からストリーム出力されたビデオの参照
- ◆ 他の参加者とのコミュニケーション(インスタントメッセージ使用)
- ◆ 会議の参加者間での画面共有

参加者アカウントによるログイン

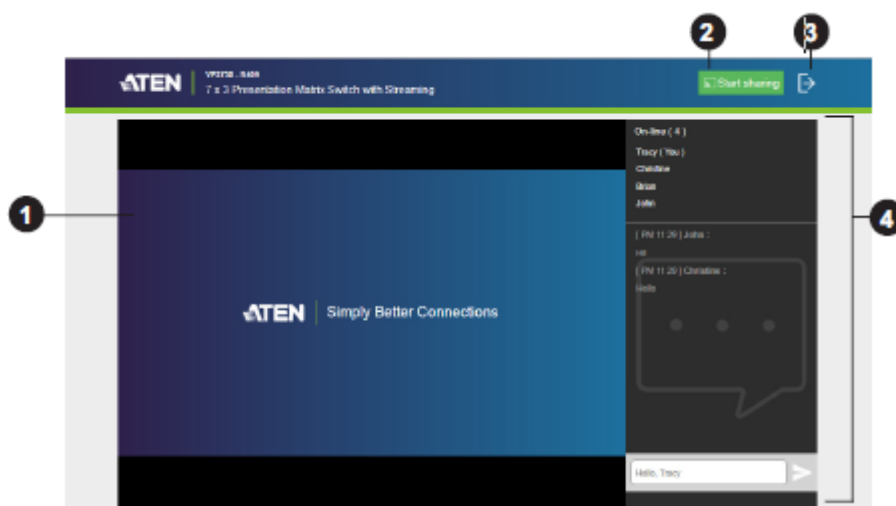
1. Web ブラウザで、VP2730 の Web リンク (IP アドレス) を入力してください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



2. 選択した画面名を入力してください。
3. VP2730 で部屋コードが有効になっている場合は、そのコードを入力してください。
4. (オプション) ドロップダウンリストをクリックして、表示言語を変更してください。
5. 「JOIN THE MEETING」(会議に参加) をクリックしてください。そうすると、その会議の Web 参照画面にログインします。

参加者アカウントの画面

VP2730 の Web インターフェースに参加者としてログインすると、下記のコントロールにアクセスすることができます。



No.	コントロール	説明
1	ライブ画面	VP2730 からライブ出力されたコンテンツを表示します。
2	共有開始	参加者の PC から画面またはアプリケーションウィンドウを選択すると、会議の参加者間で、その画面を共有することができます。手順の詳細は、p.47「画面やアプリケーションウィンドウの共有」を参照してください。
3	ログアウト	このボタンをクリックすると、VP2730 の Web インターフェースからログアウトします。
4	チャットパネル	このパネルを使うと、他の参加者とインスタントメッセージ経由でコミュニケーションを取ることができます。

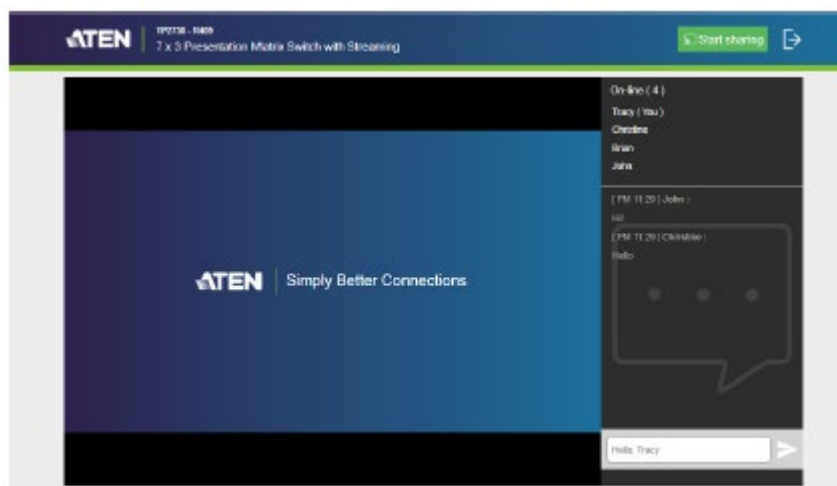
ヒント: 画面左上にある ATEN ロゴをクリックすると、ATEN の公式 Web サイトにアクセスします。

画面やアプリケーションウィンドウの共有

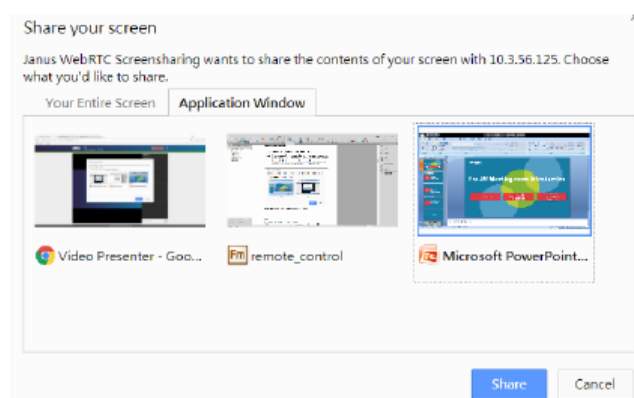
お使いの PC/ノートパソコンの画面またはアプリケーションウィンドウの全体を、会議の参加者間で共有することで、コミュニケーションを円滑に進めることができます。

-
- 注意:**
- ◆ この機能はブラウザに Chrome を使ったときにのみ、ご利用いただけます。
 - ◆ VP2730 は最大 5 拠点の同時ストリーム入力チャネルを受信できます。
-

1. 共有の対象となる画面またはアプリケーションウィンドウが、PC/ノートパソコン上で開いていることを確認してください。
2. VP2730 の Web インターフェースにログインしてください。そうすると、次のような画面が表示されます。



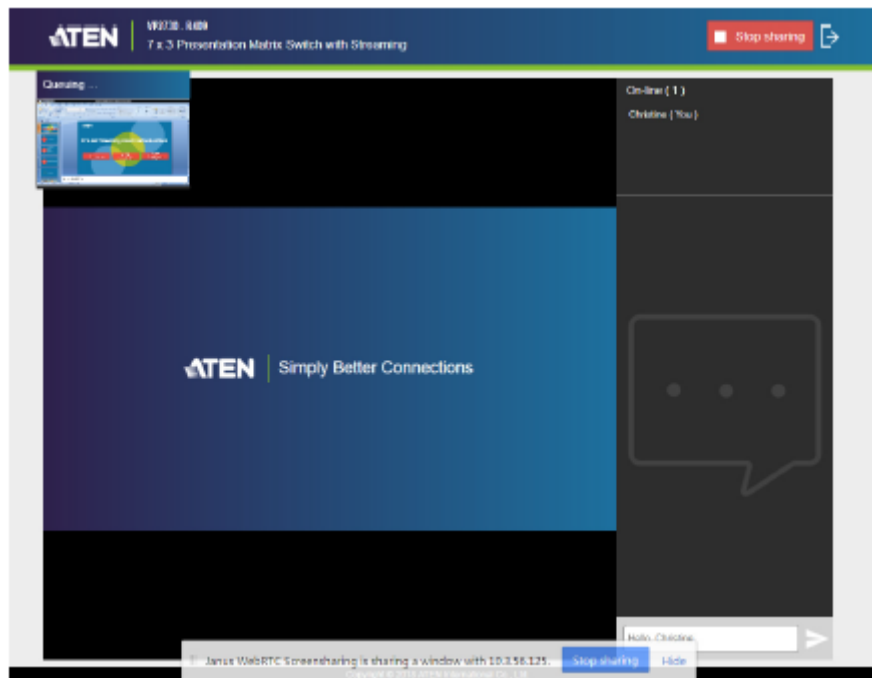
3. 「Start Sharing」(共有開始)をクリックしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



注意: お使いの Chrome で、この機能に対して適切な拡張機能がインストールされていない場合に、この機能を有効にしようとすると、プロンプトが表示され、拡張機能をインストールするよう求められます。この場合は、下記の手順に従って操作し、拡張機能のダウンロードとインストールを行ってください。

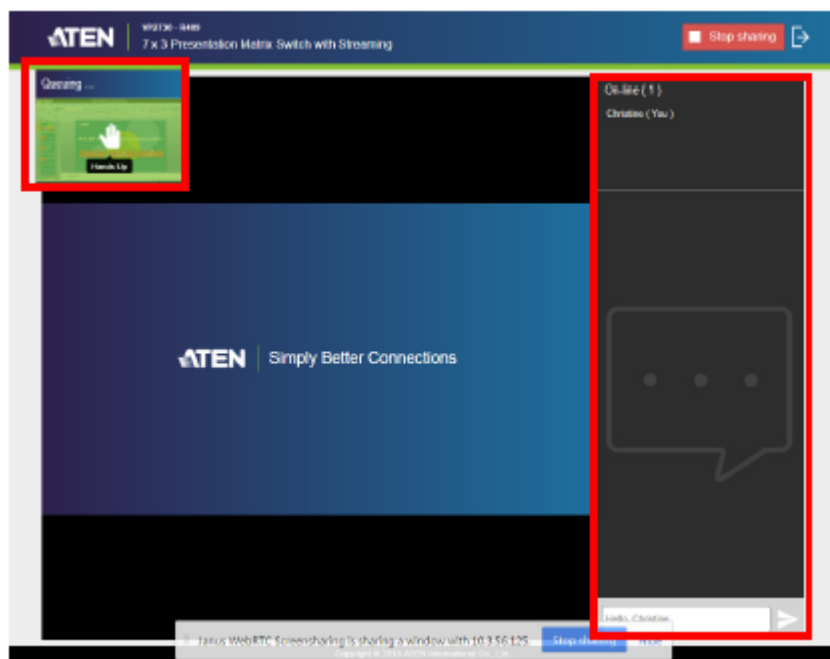
- a. ポップアッププロンプトで「download」(ダウンロード)をクリックしてください。
 - b. お使いの Chrome で新規タブを開いたら、アドレスバーに「chrome://extensions」と入力して、拡張機能の画面を開いてください。
 - c. 画面の右上で「Developer mode」(デベロッパーモード)を有効にし、ページを再読み込みしてください。
 - d. ダウンロードした拡張ファイルをドラッグしたら、この画面にドロップして、ファイルをインストールしてください。
 - e. お使いのブラウザの表示が最新になるよう、タブを閉じた後、再表示してください。
-

4. 画面またはアプリケーションウィンドウを選択したら、「Share」(共有)をクリックしてください。そうすると、このソースが VP2730 に共有され、OSD メニューのソース 6 の下で、(もし、あれば)他の共有ソースとともにオプションとして利用できるようになります。



注意: ◆ アプリケーションウィンドウを共有する場合は、処理が正常に行われるように、このウィンドウを開いたままにしておいてください。ウィンドウを最小化すると、共有を終了してしまいます。

- ◆ ビデオと一緒にオーディオを PC/ノートパソコンと共有する場合は、お使いのスピーカーからオーディオ出力ケーブルを取り外し、このケーブルを PC/ノートパソコンのマイク入力ポートに接続してください。
- ◆ コンテンツの共有を行っていることをホストにリマインドさせるために、「Queuing」(キューイング)ウィンドウのクリックによって別の通知を VP2730 に送信したり、チャットパネルを使ってテキストメッセージを送信したりすることができます。



5. 共有されたソースを表示するには、フロントパネルのプッシュボタンまたはリモコンを使って、ソースをソース 6 に切り替えてください。

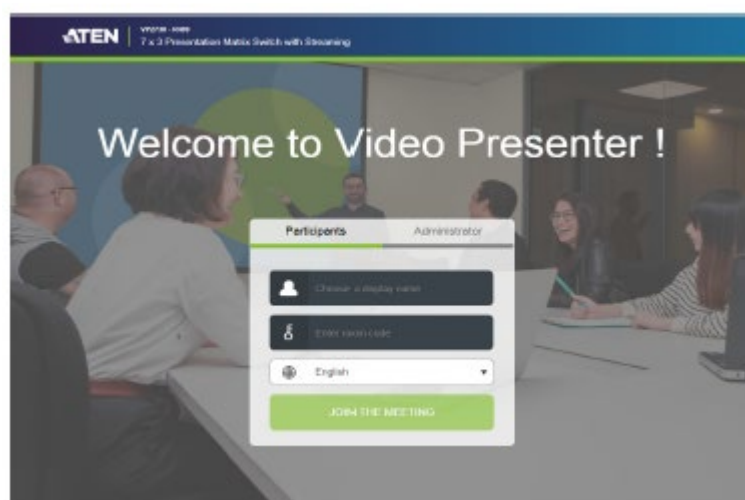
管理者のアカウント

VP2730 の Web インターフェースに管理者としてログインした場合、リモート接続してオンライン会議に参加したり、VP2730 の設定を変更したりすることができます。

管理者アカウントによるログイン

1. Web ブラウザで、VP2730 の Web リンク (IP アドレス) を入力してください。そうすると、下図のような画面が表示されます。

注意: VP2730 の Web リンクは OSD で確認してください。詳細については、p.26「表示ソースの切替」を参照してください。



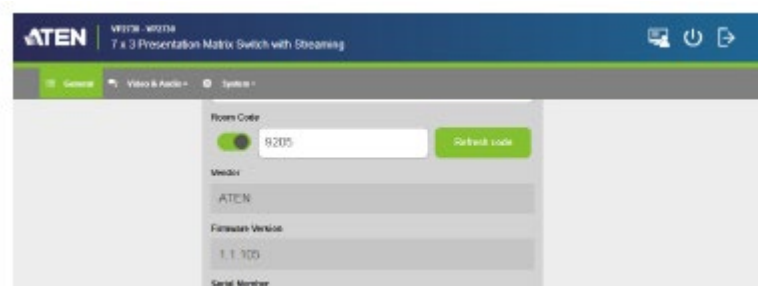
「Administrator」(管理者)タブをクリックしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



2. 管理者のユーザーネームとパスワードを入力してください。デフォルトでは、ユーザーネームは「**administrator**」に、パスワードは「**password**」に、それぞれ設定されています。

注意: 初回ログイン後は、このアカウントのパスワードを変更されることを推奨します。パスワードを変更するには、Web インターフェースで「**General**」(全般) > 「**Change Password**」(パスワードの変更)にアクセスしてください。

3. 「**Go to Settings**」(設定に移動)をクリックしてください。そうすると、メイン画面が表示されます。

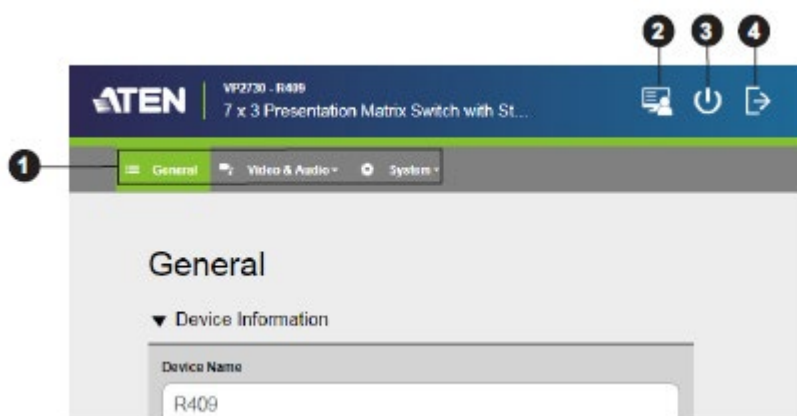





管理者アカウントの画面

管理者としてログインすると、設定画面が表示されます。

設定画面


設定画面を使うと、システム設定にアクセスすることができます。この画面にアクセスするには、Web インターフェースに管理者としてログインしてください。

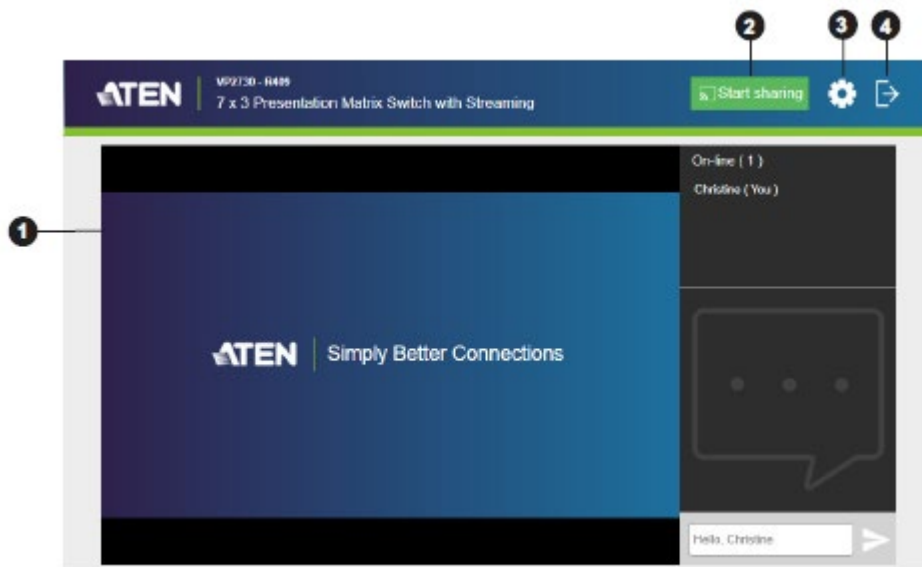


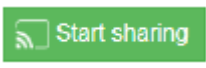


No.	コントロール	説明
1	設定タブ	システム設定にアクセスするには、これらのタブを使用します。詳細については、p.54「システム設定」を参照してください。
2	プレゼンテーションに移動 	このボタンをクリックすると、プレゼンテーション画面に移動し、オンライン会議に参加することができます。
3	電源 OFF 	このボタンをクリックすると、VP2730 の電源を OFF にします。
4	ログアウト 	このボタンをクリックすると、VP2730 の Web インターフェースからログアウトします。

ヒント: 画面左上にある ATEN ロゴをクリックすると、ATEN の公式 Web サイトにアクセスします。

プレゼンテーション画面

オンライン会議に参加するには、プレゼンテーション画面を使用します。この機能にアクセスするには、Web インターフェースに管理者としてログインし、ツールバーにある「Go to Presentation」(プレゼンテーションに移動)  アイコンをクリックしてください。



No.	コントロール	説明
1	ライブ画面	VP2730 からライブ映像の内容を表示します。
2		このボタンをクリックすると、お使いの PC やノートパソコンの画面またはアプリケーションウィンドウを共有し、会議の参加メンバー全員に対してブロードキャストします。詳細については、p.47「画面やアプリケーションウィンドウの共有」を参照してください。
3	設定に移動 	このボタンをクリックすると、設定画面に移動します。詳細については、p.52「設定画面」を参照してください。
4	ログアウト 	このボタンをクリックすると、VP2730 の Web インターフェースからログアウトします。

ヒント: 画面左上にある ATEN ログをクリックすると、ATEN の公式 Web サイトにアクセスします。

システム設定

全般設定

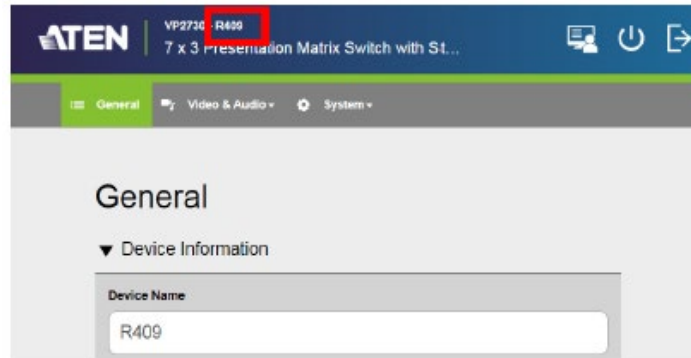
全般設定には、デバイス名、システム時刻、ログイン認証の設定が含まれます。全般設定の画面にアクセスするには、Web インターフェースに管理者としてログインし、「**General**」(全般)タブをクリックしてください。

The screenshot displays the 'General Settings' page, organized into three main sections:

- Device Information:** This section contains several fields: 'Device Name' (VP2730), 'Room Code' (0089) with a 'Refresh code' button, 'Vendor' (ATEN), 'Firmware Version' (1.3.124.006), 'Serial Number' (A1J50810024), 'Hardware Version' (A-06), and 'Build Version' (20070718).
- Date / Time:** This section includes 'Device Time' (2020-08-17 07:11:33), 'Time Zone' (dropdown menu set to '(GMT) Monrovia, Reykjavik'), radio buttons for 'NTP Server' (selected) and 'Manual Setting', a 'Manual Setting' time field (2020-08-17 07:12:56), and a 'Sync With PC' button.
- Change Password:** This section features two password input fields labeled 'Password' and 'Confirm Password', both currently showing asterisks.

◆ Device Information (デバイス情報)

- Device Name (デバイス名) : VP2730 の名前を入力してください。これは、VP2730 Web インターフェースの上部に表示されます。

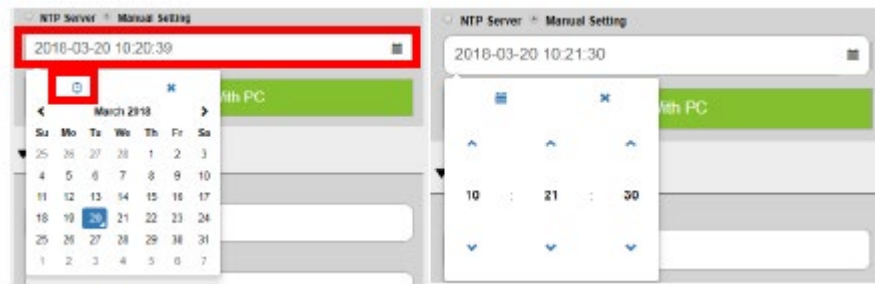


- Room Code (部屋コード) : 部屋コードとは、VP2730 の Web インターフェースへのログインやオンライン会議への参加に必要となる 4 桁の数字です。ユーザー自身でコードを決めて入力することもできますし、「Refresh Code」(コードの再生成)をクリックしてランダムな数字を生成することもできます。
- Vendor (ベンダ)、Firmware Version (ファームウェアバージョン)、Serial Number (シリアル番号)、Hardware Version (ハードウェアバージョン)、Build Version (ビルドバージョン) : VP2730 のデバイス情報が表示されます。

◆ Date/Time (日時)

注意: 日時の設定が変更されると、VP2730 は設定の再読み込みを行い、ストリーム入力チャンネル(ソース 6)への接続が自動的に終了します。

- Device Time (デバイス時刻) : 現在の日時が表示されます。
- Time Zone (タイムゾーン) : ドロップダウンリストを使って、タイムゾーンを選択してください。
- NTP Server (NTP サーバー) : このオプションを選択すると、VP2730 の日時を NTP サーバーと同期します。
- Manual Setting (手動設定) : このオプションを選択すると、VP2730 の日時を手入力で設定します。表示されている入力欄をクリックすると、カレンダーコントロールが表示されますので、設定したい日付をクリックしてください。また、🕒 をクリックすると時刻の設定を行います。



- Sync with PC (PC と同期) :このボタンをクリックすると、VP2730 の日時を、Web インターフェースを操作している PC と同期します。

◆ Change Password (パスワード変更)

ログインパスワードを変更するには、このセクションにある項目を使用してください。

オーディオ設定

オーディオ設定にアクセスするには、Web インターフェースに管理者としてログインし、「Video & Audio」(ビデオ&オーディオ) > 「Audio」(オーディオ)に進んでください。



◆ **Audio Output (オーディオ出力)**

- Overall Volume (全体のボリューム) : ディスプレイ A~C に対してボリュームを一括で設定します。
- Display A, Display B, Display C (ディスプレイ A、ディスプレイ B、ディスプレイ C) : 「Mute」(ミュート) をクリックすると、そのディスプレイに対してオーディオ出力をミュート状態(消音)にします。ディスプレイがミュート状態になっている場合は、全体のボリュームの設定が優先的に適用されます。

◆ **Audio Input (オーディオ入力)**

- Mic Volume (マイクボリューム) : VP2730 に接続されたマイクのボリュームを、出力レベルの調整によって設定します。
- Gain (ゲイン) : VP2730 に接続されたマイクのボリュームを、入力レベルの調整によって設定します。

- Streaming Volume (ストリーミングボリューム) :ストリーム入力されたソースのボリュームを設定します。
- Line-in Volume (ライン入力ボリューム) :VP2730 のソース2 のオーディオジャックに接続されたソースのボリュームを設定します。
- Media Volume (メディアボリューム) :接続されたソースのボリュームを設定します。

ソース設定

ソース設定にアクセスするには、Web インターフェースに管理者としてログインし、「Video & Audio」(ビデオ & オーディオ) > 「Source」(ソース)に進んでください。

The screenshot shows the 'Source' configuration page. It features a list of sources (Source1 to Source6) and several configuration sections. The 'Source1' section is expanded, showing a 'Name' field with the value 'Source 1' and an 'HDCP' dropdown menu set to 'HDCP'. Below this, sources Source2 through Source6 are listed but collapsed. The 'I/O Selection' section contains two dropdown menus for 'Source 1' and 'Source 2', both set to 'Auto'. The 'EDID Mode' section has a 'Mode' dropdown set to 'ATEN default'. The 'Streaming-In Quality' section has a 'Source Type' dropdown set to 'Dynamic'.

- ◆ **Name(名前)** :これらの項目を使って、VP2730 に接続されたソースに名前を設定します。

- ◆ **HDCP**:この項目を有効にすると、VP2730 に対する接続で信号のコピーを防ぐために、ソースの A/V コンテンツを暗号化して送信します。
- ◆ **I/O Selection (I/O 選択)**:ソース 1 とソース 2 で優先されるインターフェースをドロップダウンリストから選択してください。「Auto」(自動)を選択すると、最初に検出された入力をソースとして使用します。
- ◆ **EDID Mode (EDID モード)**:EDID モードをドロップダウンリストから選択してください。
 - **ATEN default (ATEN デフォルト)**:プリセットされた EDID を、接続ソースへと送信します。
 - **Display A (ディスプレイ A)**:接続ソースに対して、ディスプレイ A の EDID 情報を送信します。
- ◆ **Streaming-in Quality (ストリーム入力品質)**:
 - **Dynamic (動的)**:このオプションを選択すると、解像度 720p および周波数 30Hz でソースがストリーム入力されます。これはデフォルト設定です。
 - **Static (静的)**:このオプションを選択すると、解像度 1080p でソースがストリーム入力されます。

表示設定

表示設定にアクセスするには、Web インターフェースに管理者としてログインし、「Video & Audio」(ビデオ&オーディオ) > 「Display」(表示)に進んでください。

The screenshot shows a web interface for display settings. It is organized into sections: 'Basic', 'Display A', 'Display B', and 'Display C'. Each section contains several configuration options:

- Basic:** A dropdown menu for 'Mode' set to 'Matrix mode'.
- Display A:** Text input for 'Name' (Display A), dropdown for 'Rate' (Scale to whole), dropdown for 'HDCP' (HDCP), dropdown for 'Resolution' (1020 x 1080 @ 60), and dropdown for 'Auto Switching' (Disable). A note below states: '* Display A will auto switching to the new connected source'.
- Display B:** Text input for 'Name' (Display B), dropdown for 'Rate' (Scale to whole), and dropdown for 'HDCP' (HDCP).
- Display C:** Text input for 'Name' (Display C), dropdown for 'Rate' (Scale to whole), and dropdown for 'HDCP' (HDCP).

◆ Basic (Mode)(基本(モード)):

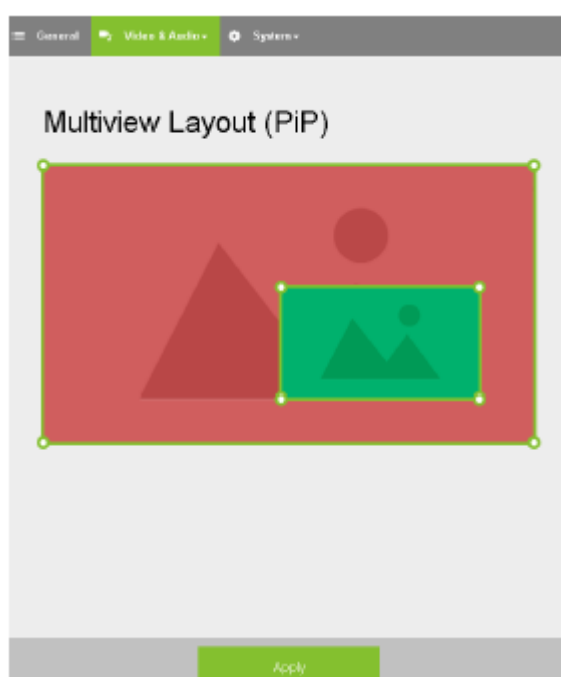
- **Matrix mode (マトリクスモード):** 各接続ディスプレイには個別に設定を行って、異なるコンテンツを出力することができます。これはデフォルトモードです。このモードでは、各ディスプレイをそれぞれの OSD パネルで設定します。
- **Mirror mode (ミラーモード):** 各接続ディスプレイでは互いにミラーリングを行い、設定も同じになります。このモードでは、任意のディスプレイにおける設定が、VP2730 に接続された他のディスプレイへと自動的に適用されます。

- ◆ **Display A/B/C (ディスプレイ A/B/C)** : ディスプレイに接続されているディスプレイの名前や比率、解像度を設定します。
 - **Name (名前)** : クリックして、接続ディスプレイに対する名前を入力してください。
 - **Ratio (比率)** :
 - ◇ **Scale to whole (全体に引き伸ばす)** : ディスプレイの上下左右を最大限に引き伸ばします。
 - ◇ **Auto fit (自動調整)** : コンテンツを画面の範囲内に収めながら、ディスプレイに合うように、ビデオを相対的にスケーリングします。この設定にした場合、画面の上下または左右にブランク部分が残る場合があります。
 - ◇ **Auto cut (自動カット)** : 画面全体にビデオが表示されるよう、相対的にスケーリングします。この設定にした場合、ディスプレイの範囲内に収まらなかった部分はカットされます。
 - **HDCP** : この項目を有効にすると、VP2730 に対する接続で信号のコピーを防ぐために、ソースの A/V コンテンツを暗号化して送信します。
 - **Resolution (解像度)** : ディスプレイに対して設定する解像度およびリフレッシュレートを、ドロップダウンリストから選択してください。この欄は、VP2730 にディスプレイが接続されているときにのみ利用可能です。
 - **Auto switching (自動切替)** : 新規に検出されたソースへと自動的に切り替えます。このオプションはディスプレイ A でのみ利用可能です。

マルチビュー設定


ピクチャ・イン・ピクチャ (PiP) 表示において、挿入ウィンドウのリサイズや再配置を行うには、「Video & Audio」(ビデオ&オーディオ) > 「Multiview」(マルチビュー)に進んでください。

- ◆ 挿入ウィンドウを再配置するには、ウィンドウをドラッグして、別の場所でドロップしてください。
- ◆ リサイズを行う場合は、ウィンドウの隅にマウスを動かしてカーソルを表示させてください。このカーソルでウィンドウをドラッグ&ドロップすることで、ウィンドウサイズを拡大または縮小することができます。



ネットワーク設定

VP2730 のネットワーク接続設定を変更するには、Web インターフェースに管理者としてログインし、「System」(システム) > 「Network」(ネットワーク)に進んでください。



The screenshot shows the 'Network' configuration page. The 'IP setting' section is expanded, showing the following configuration:

- Mode:** DHCP (selected), Manual
- IP:** 10.3.56.125
- Mask:** 255.255.254.0
- Gateway:** 10.3.57.254
- DNS:** 8.8.8.8

- ◆ **DHCP:**このオプションを選択すると、接続されたネットワークスイッチが、VP2730 の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を、それぞれ動的に割り当てます。
- ◆ **Manual(手動):**このオプションを選択すると、VP2730 の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を、それぞれ手入力で設定します。なお、ネットワーク設定を変更しても、VP2730 を再起動する必要はありません。

システムファームウェアの更新

1. 適用したいファームウェアファイルを準備してください。
 - a) 弊社 Web サイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)にアクセスしてください。
 - b) ファームウェアの最新版をダウンロードしてください。ダウンロードは、1) 製品ページ内の「サポートとダウンロード」メニューからアクセス、または、2) ホームページのトップページの右上に表示される(表示画面のサイズによっては画面左上に三本線のアイコンが表示されるので、それをクリックすると表示される)「サポートとダウンロード」→「ダウンロード」→「他の製品の資料をダウンロードする」に型番を入力して検索する方法で行えます。
2. VP2730 の Web インターフェースに管理者としてログインし、「**System**」(システム) > 「**Maintenance**」(メンテナンス) > 「**Firmware Updates**」(ファームウェア更新)に進んでください。
3. 手順 1(b)でダウンロードしたファームウェアファイルを、「**Firmware Updates**」(ファームウェア更新)セクションの「参照」ボタンで選択し、「**Update**」(アップデート)をクリックしてください。
4. アップグレードが完了すると、確認メッセージが表示されます。

システム設定のバックアップ

VP2730 の設定は、エクスポートしてバックアップを取ることができます。なお、このバックアップには、ユーザーネームとパスワードの設定は含まれませんので、ご注意ください。

1. VP2730 の Web インターフェースに管理者としてログインし、「**System**」(システム) > 「**Maintenance**」(メンテナンス) > 「**Backup / Restore**」(バックアップ/リストア)に進んでください。
2. 「**Backup**」(バックアップ)をクリックしてください。

システム設定のリストア

1. VP2730 の Web インターフェースに管理者としてログインし、「**System**」(システム) > 「**Maintenance**」(メンテナンス) > 「**Backup / Restore**」(バックアップ/リストア)に進んでください。
2. VP2730 の設定をリストアするには、あらかじめ保存しておいたバックアップファイル(*.aes ファイル)を、「**Browse File**」(ファイルを参照)をクリックして選択して、「**Restore**」(リストア)をクリックしてください。

VP2730 のデフォルトへのリセット

1. VP2730 の Web インターフェースに管理者としてログインし、「**System**」(システム) > 「**Maintenance**」(メンテナンス) > 「**Backup / Restore**」(バックアップ/リストア)に進んでください。
2. 「**Reset to Default**」(デフォルトへのリセット)をクリックしてください。この操作を行うと、ネットワーク設定を含むすべての設定をデフォルト値にリセットします。

SSL 暗号化の適用

VP2730 と、この Web インターフェースのアクセスに使用する Web ブラウザの間におけるセッションを保護するには、下記の手順に従って操作し、SSL 暗号化を適用してください。

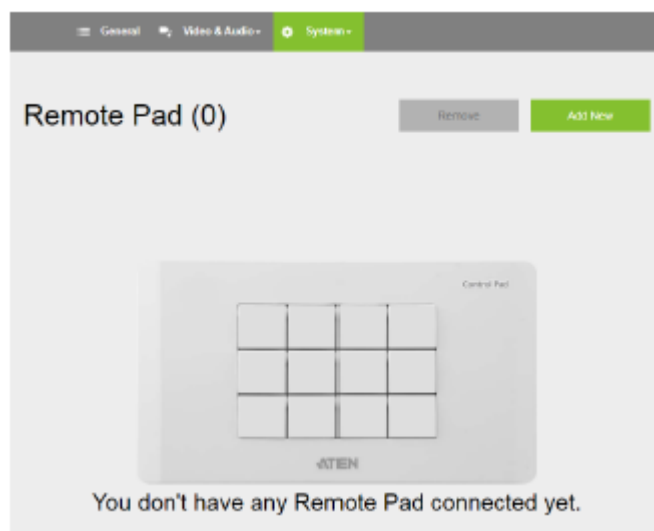
1. 信頼されたサードパーティーの認証局(CA)から SSL 証明書を購入し、このファイルを VP2730 の Web インターフェースにアクセスするコンピューターに保存してください。
2. VP2730 の Web インターフェースに管理者としてログインし、「**System**」(システム) > 「**Maintenance**」(メンテナンス) > 「**Web Server SSL**」(Web サーバーSSL)に進んでください。
3. 「**Browse File**」(ファイルを参照)をクリックして、SSL 証明書とプライベートキーをアップロードしてください。
4. 「**Update**」(更新)をクリックして、SSL 暗号化を適用してください。

リモートパッドの設定

VP2730は、各種操作機能を提供するATEN ネットワークリモートパッドに対応しています。頻繁に使う機能（例：ディスプレイ/ソースの切替、スピーカー/マイク音量の調整、ディスプレイへのストリーム出力など）へと簡単にアクセスできるよう、システムには1台ないしは複数のリモートパッドをセットアップすることができます。リモートパッドをセットアップしたら、VP2730のWebコンソールを使ってVP2730本体とのペアリングを行い、セットアップを完了させてください。


リモートパッドの設定

1. ホストとなるVP2730から、同一LANに接続されている1台または複数のリモートパッドの設定を行ってください。詳細は、リモートパッドのユーザーマニュアルを参照してください。
2. リモートパッドとVP2730のペアリングを行ってください。
 - a) ホストとなるVP2730のWebインターフェースに管理者としてログインしたら、「System」(システム) > 「Remote Pad」(リモートパッド)に進んでください。そうすると、下図のようなリモートパッド一覧が表示されます。




- b) 「Add New」(新規追加)をクリックしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



Paired (0)			Unpaired (2)	
<input type="checkbox"/>	Device Name	IP Address	Model	Identify Device
<input type="checkbox"/>	VPK312	10.3.52.20	VPK312	
<input type="checkbox"/>	VPK312	10.3.52.65	VPK312	

- ◆ **Paired (ペアリング済み)**: このタブには、同一 LAN にあるリモートパッドのうち、他のプレゼンススイッチャーとペアリングされているものが一覧表示されます。
- ◆ **Unpaired (ペアリング未設定)**: このタブには、同一 LAN にあるリモートパッドのうち、ペアリング可能なものが一覧表示されます。
- ◆ : このアイコンをクリックすると、パネル LED を点滅させることでリモートパッドを識別することができます。

- c) 「Unpaired」(ペアリング未設定)タブから、VP2730 とのペアリングを行うリモートパッドを選択(複数可)したら、「Add」(追加)をクリックしてください。そうすると、選択したリモートパッドが追加されます。



- d) (オプション)リモートパッドとのペアリングを解除する場合は、「Paired」(ペアリング済み)タブをクリックして、「」をクリックしてください。そうすると、対象となるリモートパッドは「Unpaired」(ペアリング未設定)タブに移動し、再び選択できるようになります。

Paired (1)		Unpaired (21)			
<input type="checkbox"/>	Device Name	IP address	Model	Host	Identify Device
<input type="checkbox"/>	Front Desk-1	10.3.65.01	VPK312	Name(10.3.1.1) 	

3. リモートパッドのレイアウトを定義してください。
- a) 設定対象となるリモートパッドのドロップダウンメニューをクリックして、「Edit」(編集)をクリックしてください。そうすると、リモートパッドの Web コンソールが表示されます。



- b) ポップアップ表示された Web 画面で、リモートパッドのレイアウトを定義してください。設定項目に関する詳細は、ATEN リモートパッドのユーザーマニュアルを参照してください。

リモートパッドレイアウトのインポート/エクスポート

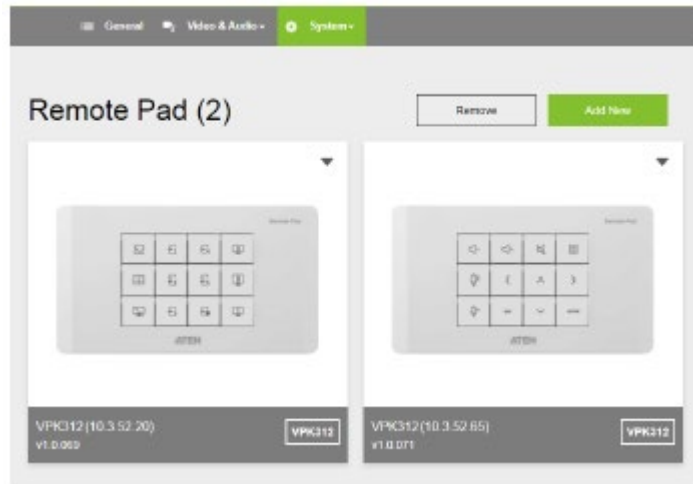
インポート/エクスポート機能を使うと、リモートパッドの設定をバックアップしたり、複数のリモートパッドを効率的にセットアップしたりすることができます。

1. ホストとなる VP2730 の Web インターフェースに管理者としてログインしたら、「**System**」(システム) > 「**Remote Pad**」(リモートパッド)に進んでください。
2. 対象となるリモートパッドのドロップダウンメニューをクリックし、「**Export Layout**」(レイアウトのエクスポート)または「**Import Layout**」(レイアウトのインポート)を選択してください。

リモートパッドの識別

この機能を使うと、ホストとなる VP2730 の Web コンソールからリモートパッドを識別することができます。

1. ホストとなる VP2730 の Web インターフェースに管理者としてログインしたら、「**System**」(システム) > 「**Remote Pad**」(リモートパッド)に進んでください。



2. 対象となるリモートパッドのドロップダウンメニューをクリックしたら、「**Identify Device**」(デバイスの識別)を選択してください。そうすると、リモートパッドの LED が点滅し、Web コンソールのリモートパッドが黄色に点滅します。



3. 点滅を停止するには、ドロップダウンリストをクリックして、「**Stop Blinking**」(点滅の停止)を選択してください。

リモートパッドのペアリング解除

1 台または複数のリモートパッドのペアリングを解除するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ホストとなる VP2730 の Web インターフェースに管理者としてログインしたら、「**System**」(システム) > 「**Remote Pad**」(リモートパッド)に進んでください。
2. 「**Remove**」(解除)をクリックし、1 台または複数のリモートパッドを選択してください。



3. 「**Remove**」(解除)をクリックしてください。そうすると、選択されたアイテムはリモートパッド一覧に表示されなくなります。

第5章

RS-232 シリアルコマンド

概要

7 入力 3 出力プレゼンマトリックスシームレススイッチャーVP2730 は、ハードウェアまたはソフトウェアコントローラーから RS-232 コマンドを実行することで、システム設定を行うことができます。

セットアップ

1. VP2730 本体の RS-232 シリアルポートに、コンピューターを接続してください。
2. お使いのコントローラー用コンピューターで RS-232 シリアル制御を行うのに適したコントローラーソフトウェアをダウンロードし、インストールを行ってください。
3. ソフトウェアを実行し、次の接続設定を行ってください。
 - ◆ 接続するシリアルライン:COM1
 - ◆ 速度(ボーレート):9600
 - ◆ データビット:8
 - ◆ ストップビット:1
 - ◆ パリティ:無
 - ◆ フローコントロール:無
4. VP2730 とのセッションが確立すると、RS-232 コマンドを送信して VP2730 の設定を行うことができます。コマンド一覧については、p.73「RS-232 コマンド」を参照してください。

コマンドの表記法

- ◆ コマンドの基本形式は次のとおりとなります。

コマンド パラメーター<引数> {1|2|3}

表記法	説明
コマンド	コマンドの名前は太字で表記されています。
パラメーター	パラメーターの名前を示します。
<引数>	ユーザーが提供しなければならない値の名前、または情報を示します。コマンドを実行する際は、前後のカッコは入力せず、引数だけを入力してください。
[]	オプションのアイテムを示します。コマンドを実行する際は、前後のカッコは入力せず、オプションだけを入力してください。
{ }	ユーザーが1つ選択できるオプションを示します。
	コマンドラインにおいて、相互に排他的なオプションを示します。コマンドラインには、この記号を含めず、オプションだけを入力してください。
↵	コマンドの終了を示す終端文字を示します。 重要: お使いのデバイスで決められた終端文字を使用してください。共通の終端文字は¥x0D¥x0A(16進数)です。または、[Enter]キーを押すこともできます。

- ◆ 複数のパラメーターを使用する場合、パラメーターの順番が操作の結果に影響を与えることはありません。例えば、次のコマンドは両方とも同じタスクを実行します。

コマンド名 + パラメーター1 + パラメーター2

コマンド名 + パラメーター2 + パラメーター1

RS-232 コマンド

RS-232 コマンドの一覧は下表のとおりです。

コマンドの構文	説明
capturescreen ↵	次の形式で USB ストレージデバイスの情報を取得します。 device index X, label is XXX, remaining XX デバイスインデックスは、画面キャプチャの保存先に使用されます。
capturescreen o<出力ポート> i<デバイスインデックス> ↵	ポートの画面キャプチャを取得し、USB ストレージデバイスに保存します。 出力ポートのパラメーター ◆ o<出力ポート> : 出力ポートを 2 桁の数字で指定します。 デバイスインデックスのパラメーター ◆ i<デバイスインデックス> : 画面キャプチャの USB ストレージの保存先を指定します。 入力例: capturescreen o02 i01
devicename ↵	VP2730 のデバイス名を表示します。
devicename n<名前> ↵	VP2730 に名前を設定します。 半角英数字を使用し、次の文字を除いた 1~30 文字で入力してください。 <> [] () & * + = ? @ / ¥ ‘ , ; : “
displaymode ↵	現在の表示モードを示します。

(表は次のページに続きます)

コマンドの構文	説明
displaymode {matrix mirror} ↵	VP2730 の表示モード(各接続ディスプレイが別々のコンテンツを表示するマトリックスモード、あるいは各ディスプレイで同一コンテンツを表示するミラーモード)を設定します。 入力例: displaymode matrix
edid ↵	現在の EDID モードを表示します。
edid {default o01} ↵	VP2730 の EDID モードを設定します。 ◆ default : VP2730 の EDID モードを ATEN デフォルトに設定します。このモードでは、ATEN でプリセットされた EDID を接続ソースへと送信します。 ◆ o01 : 出力ポート A に接続されたディスプレイに従って VP2730 の EDID モードを設定します。 入力例: edid default
engrxmode ↵	入力ポート 1 と 2(コンボポート)の現在のインターフェース設定を表示します。
engrxmode i01 {auto hdmi dp} engrxmode i02 {auto hdmi vga} ↵	特定のコンボポート(ポート1またはポート2)のインターフェースを設定します。 ◆ auto : 特定のコンボポートを自動切替に設定します。この設定では、ソースが検出されたタイミングで、ポートを新規ソースへと自動的に切り替えます。 ◆ hdmi dp : 特定のコンボポートが HDMI または DisplayPort のソースを選択するように設定します。 ◆ hdmi vga : 特定のコンボポートが HDMI または VGA のソースを選択するように設定します。
freeze o<出力ポート> {on off} ↵	ディスプレイで特定の出力をフリーズ/フリーズ解除します。 注意: 司会モードが有効の場合、この機能はサポートされません。 入力例: freeze o03 on

(表は次のページに続きます)

コマンドの構文	説明
golive o<出力ポート> {on off} ↵	特定の出力ポートに接続されたソースのストリーム出力を有効/無効にします。例えば、 golive o02 on と入力すると、ポート 2 に接続されたソースをストリーム出力します。
multiview ↵	現在のマルチビューモードを表示します。
multiview o<出力ポート> l<レイアウトソース> mode<モード番号> ↵	出力ポートに対するマルチビューモードを設定し、出力ポートのレイアウトソースを決定します。 出力ポートのパラメーター ◆ o <出力ポート> : 出力ポートを 2 桁の数字で指定します。 レイアウトソースのパラメーター ◆ l <レイアウトソース> : レイアウトソースの番号(1~6, 7 は NULL)を指定します。 モードのパラメーター ◆ mode<モード番号> : モード(1~6)を指定します。 入力例: multiview o02 mode2 ⇒出力ポート 2 をマルチビューモード 2 に設定します。 multiview l45 mode3 ⇒レイアウトソース(4,5)でマルチビューモード 3 に設定します。 multiview o01 l356 mode4 ⇒出力ポート 1 をレイアウトソース(3,5,6)でマルチビューモード 4 に設定します。
mute ↵	各オーディオ入力(マイク、ストリーム、ライン入力)およびオーディオ出力(ディスプレイ A/B/C および全体)のミュート状態を表します。

(表は次のページに続きます)

コマンドの構文	説明
<p>mute <ポートオプションインデックス> {on off} ↵</p>	<p>特定のオーディオ入力またはオーディオ出力をミュート/ミュート解除します。</p> <p>ポートオプションインデックス:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ i08 : マイク入力 ◆ i09 : ストリーム入力 ◆ i10 : ライン入力 ◆ i11 : メディア入力 ◆ o01 : ディ스플레이 A ◆ o02 : ディ스플레이 B ◆ o03 : ディ스플레이 C ◆ o10 : ディ스플레이 A/B/C(全体) <p>ミュート/ミュート解除</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ on : 選択されたボリュームオプションをミュート ◆ off : 選択されたボリュームオプションのミュートを解除 <p>入力例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ディ스플레이 A におけるオーディオをミュート状態にするには、次のように入力します。 <p>mute o01 on</p>

(表は次のページに続きます)

コマンドの構文	説明
notification {s<表示時間> web<on off> sys<on off> clean} ↵	OSD の右上にポップアップ表示される通知メッセージに関して設定を行います。 ◆ s <表示時間> : 各通知メッセージが OSD に表示される時間(3、5、10(秒)で入力)を設定します。 ◆ web <on off> : Web インターフェースから行われた設定のポップアップ通知を ON/OFF にします。 ◆ sys <on off> : OSD またはデバイスパネルから行われた設定のポップアップ通知を ON/OFF にします。 ◆ clean : 通知パネルにある通知メッセージをすべて消去します。 入力例: notification s5 notification web on notification sys off notification clean
power {on off} ↵	VP2730 の電源を ON/OFF にします。 注意: コマンドは 0.3 秒以内に入力されないと無視されます。コマンドがすぐに入力されるよう、コピー&ペーストして実行してください。
read ↵	次の設定を表示します。 ◆ 電源の状態(ON または OFF) ◆ 各接続ディスプレイ(o01:ディスプレイ A、o02:ディスプレイ B、o03:ディスプレイ C)におけるビデオソースの割り当て、オーディオソースの割り当て、ボリューム、およびビデオ解像度 ◆ EDID モード ◆ デバイス情報(デバイス名、ベンダ、ファームウェアバージョン、シリアル番号、ハードウェアバージョン、ビルドバージョン) ◆ ネットワークの設定(MAC アドレス、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、IP の割り当て)
reboot ↵	VP2730 を再起動します。

(表は次のページに続きます)

コマンドの構文	説明
reset ↵	VP2730 をデフォルト設定にリセットします。
roomcode {on off refresh} ↵	部屋コードを有効/無効/再生成します。 入力例: roomcode on
scalemode ↵	各接続ディスプレイの画面比率を表示します。
scalemode o<出力ポート> {full fit cut} ↵	特定のポートに接続されているソースの画面比率を設定します。 ◆ full : 画面をフルスクリーンに設定します。 ◆ fit : コンテンツをカットすることなく、画面に合わせて全体をスケーリングします。 ◆ cut : 画面に合わせて全体をスケーリングします。この場合、画面の一部がカットされることがあります。
scaling ↵	現在のスケーリングの設定を表示します。
scaling o<出力ポート> hor<水平解像度> ver<垂直解像度> freq<ディスプレイの周波数> ↵	特定のポートに接続されたソースの出力解像度とリフレッシュレートを設定します。 入力例: scaling o01 hor 1024 ver 768 freq 60

(表は次のページに続きます)

コマンドの構文	説明
streamingin ↵	<p>画面/アプリケーションの共有を要求したユーザーのユーザーネームと opaque ID を表示します。また、どのコンテンツが共有されたかも示します。</p> <p>例:streamingin ↵ と入力すると、次のようなメッセージが表示されます。</p> <pre> user name: aaaa, opaqueId: WEB- MzqGYIdyCt, status: paused user name: test, opaqueId: WEB- JKkz6o867p, status: playing user name: glorialai, opaqueId: WEB-eYn4JQ4nJ4, status: paused Command OK </pre> <p>このメッセージは、3 名のユーザーが自身で選択した画面/アプリケーションの共有を要求しており、2 番目のユーザーの「test」というコンテンツが共有されていることを表しています。</p>
streamingin o<opaqueID> ↵	<p>会議の参加者の画面の共有を開始/終了します。最初に使用可能なストリーミングとその opaque ID を一覧表示するには、streamingin コマンドを使用してください。</p> <p>例えば、「WEB-eYn4JQ4nJ4」という opaque ID でユーザーからのコンテンツ共有を開始するには、次のように入力します。</p> <p>streamingin oWEB-eYn4JQ4nJ4</p> <p>このユーザーからのコンテンツ共有を終了するには、同じコマンドをもう一度入力してください。</p>

(表は次のページに続きます)

コマンドの構文	説明
sw o<出力ポート> i<入力ポート> ↵	<p>特定のディスプレイを指定されたソースへと切り替えます。</p> <p>出力ポートに関連したパラメーター:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ o <出力ポート> : 出力ポートを 2 桁の数字で指定します。 ◆ o* : すべての出力ポートを表します。 <p>入力ポートに関連したパラメーター:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ i <入力ポート> : 入力ポートを 2 桁の数字で指定します。 ◆ + : 次の入力ポートを表します。 ◆ - : 前の入力ポートを表します。 <p>入力例:</p> <pre>sw o01 i02 sw o01 + sw o* i02</pre>
swmode ↵	<p>A/V ソースが接続されたり取り外されたりした場合における A/V ソースの切替動作(モード)を表します。</p>

(表は次のページに続きます)

コマンドの構文	説明
swmode plugin plugout {disable next last} ←	A/V ソースの切替動作を定義します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ plugin : ソースの接続を意味します。 ◆ plugout : ソースの切断を意味します。 ◆ disable : 自動切替を無効にします。 ◆ next : VP2730 をネクストモードにします。このモードでは、現在のソースが使用できなくなった場合に、システムで次に利用可能なソースへと自動的に切り替えることができます。 ◆ last : VP2730 をラストモードにします。このモードでは、現在のソースが使用できなくなった場合に、システムで最後に利用可能なソースへと自動的に切り替えることができます。 注意:last オプションは、コマンド構文に plugout が使われている場合にのみ利用可能です。 <p>入力例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ソースがシステムに接続された際の自動切替を無効にするには、次のように入力します。 swmode plugin disable ◆ 新規ソースへと自動的に切り替えるには、次のように入力します。 swmode plugin disable ◆ ソースが取り外された場合、次に利用可能なソースへと自動的に切り替えるには、次のように入力します。 swmode plugout next ◆ ソースが取り外された場合、一つ前で利用可能なソースへと自動的に切り替えるには、次のように入力します。 swmode plugout last
time ←	VP2730 における現在の時刻設定(デバイス時刻、タイムゾーン、同期設定(NTP サーバー経由またはカスタマイズのいずれか))を表示します。

(表は次のページに続きます)

コマンドの構文	説明
volume ↵	VP2730 における現在のボリューム設定(全体のボリューム、マイク入力ボリューム、マイクゲイン、ストリーム入力ボリューム、ライン入力ボリューム、メディアボリューム)を表示します。
volume <ボリュームオプションインデックス> v<ボリューム> ↵	ボリュームオプションを指定された値に設定します。 ボリュームオプションインデックス ◆ o10 : 全体の出力ボリューム ◆ i08 : マイク ◆ i09 : ストリーム入力 ◆ i10 : ライン入力 ◆ i11 : メディア入力 ボリューム ボリュームの値(1~100)を入力してください。 入力例: ◆ マイクボリュームを 50 に設定するには、次のように入力します。 volume i08 v50 ◆ 全体の出力ボリュームを 30 に設定するには、次のように入力します。 volume o10 v30

第6章 ビデオプレゼン制御アプリ

概要

ATEN ビデオプレゼン制御アプリは、会議への参加、コンテンツの共有、ソースやディスプレイの切替を簡単に行えるように設計されたものです。また、このアプリによって、VP2730 デバイスのシステム設定をスマートフォンやタブレットから行うこともできます。

対応システム

ATEN ビデオ制御プレゼンアプリは、次のモバイル OS に対応しています。

モバイル OS	説明
Android	バージョン 8.0 以降
iOS	バージョン 12 以降

アプリのインストールと設定

1. スマートフォン/タブレットに ATEN ビデオ制御アプリをインストールしてください。

- スマートフォン/タブレットから、App Store  または Google Play  のアイコンをタップしてください。
- 検索ボックスに「ATEN Video Presentation Control App」と入力してください。
- 「ATEN Video Presentation Control App」をタップしてアプリをインストールしてください。
- または -
- 下にある QR コードをスキャンして、アプリをインストールしてください。



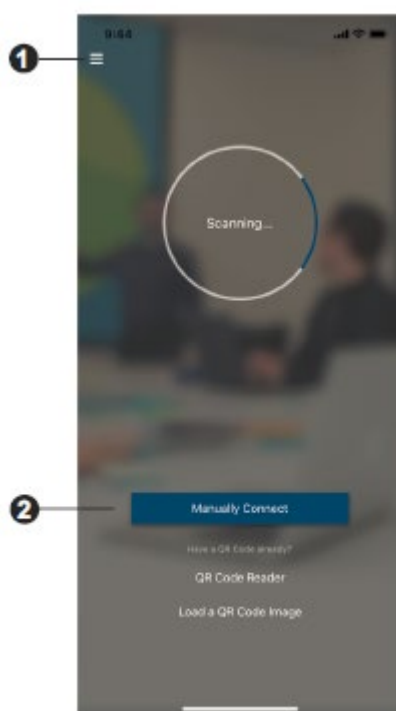
2. スマートフォン/タブレットから、「ATEN Video Presentation Control App」のアイコン  をタップしてください。


注意: スマートフォン/タブレットは必ず VP2730 がセットアップされているネットワークに接続してください。

iOS 版

メイン画面

ATEN ビデオ制御アプリにログインすると、デフォルトでスキャン画面に遷移します。各タブの機能概要については、下表を参照してください。



No.	名称	説明
1	情報 	このアイコンをタップすると、バージョン、プライバシーポリシー、問い合わせ先といった情報が表示されます。
2	Manually Connect (手動接続)	このアイコンをタップすると、IP アドレスまたは 4 桁の部屋コードを入力して手動接続し、会議に参加します。

注意: QR コードリーダーおよび QR コードイメージの読み込み機能は、VP2730 に搭載されていません。

情報

次の画面は、情報画面の外観です。ここでは、バージョン、プライバシーポリシー、問い合わせ先といった情報が表示されます。「Contact us」(お問い合わせ)をタップすると、ATEN 公式 Web サイトに接続します。



注意: 特に指定されない限り、本マニュアルで使用される画面キャプチャはすべてスマートフォンにおけるものです。タブレットにおける実際の画面レイアウトは、これらの例とは異なる場合があります。

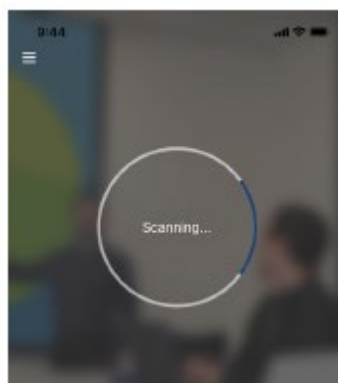
会議への参加

VP2730でATENビデオプレゼン制御アプリを介して会議に参加するには3つの方法があります。アプリが開いている場合、アクセスできるデバイスや利用可能な部屋を自動的にスキャンします。あるいは、IPアドレスや部屋コードを手入力したり、QRコードを使用したりすることでも、会議に参加することができます。いずれの方法についても、次に説明します。

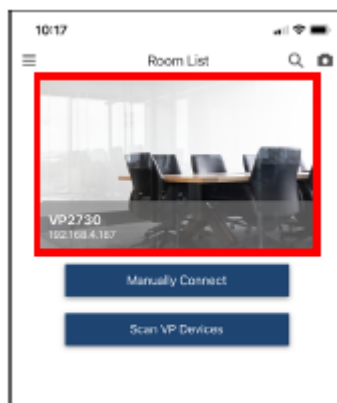
自動で会議に参加するには

自動スキャンを行って会議に参加するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ATENビデオプレゼン制御アプリを開いて、スキャン処理が完了するまでお待ちください。

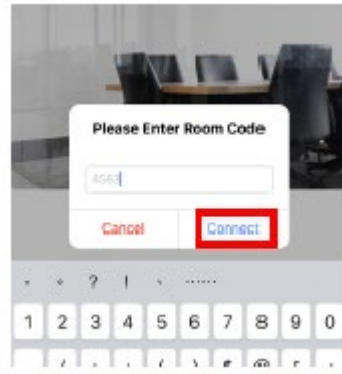


2. スキャンが完了すると、「Room List」(部屋一覧)画面が表示されます。部屋をタップして会議に参加してください。



3. 部屋コード(詳細は p.39「システム設定」を参照)を入力したら、「Connect」(接続)をタップしてください。

注意: 部屋コードが無効に設定されている場合は、部屋コードを入力する必要がありません。



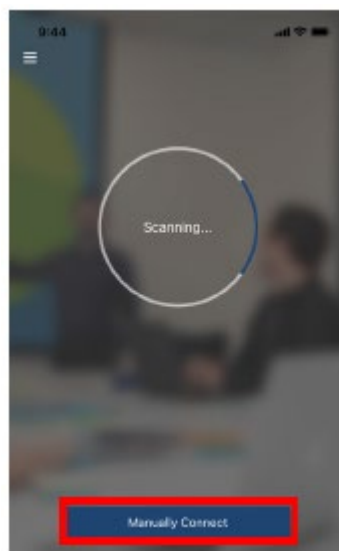
4. これで、正常に会議へと参加できたことになります。



手動接続で会議に参加するには

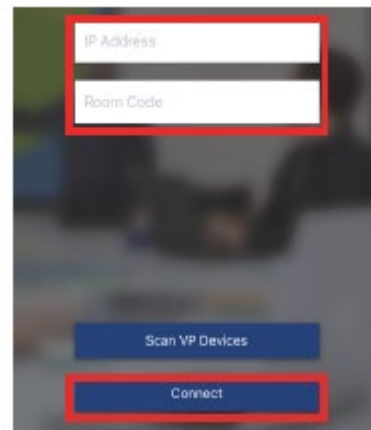
手動で接続して会議に参加するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ATEN ビデオプレゼン制御アプリを開いて、「**Manually Connect**」(手動接続)をタップしてください。



2. VP2730 の IP アドレスと部屋コード(詳細は p.39「システム設定」を参照)を入力し、「**Connect**」(接続)をタップしてください。

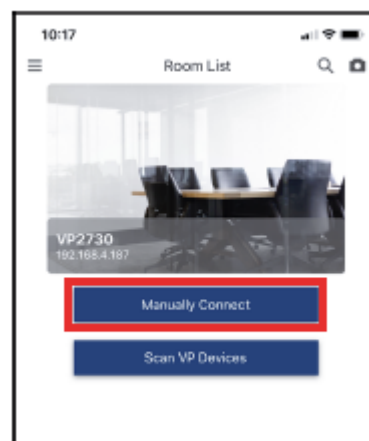
注意: 部屋コードが無効に設定されている場合は、部屋コードを入力する必要がありません。



3. これで、正常に会議へと参加できたことになります。

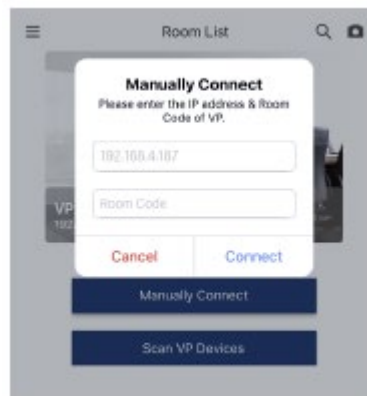
または

4. 「Room List」(部屋一覧)画面から「**Manually Connect**」(手動接続)をタップしてください。



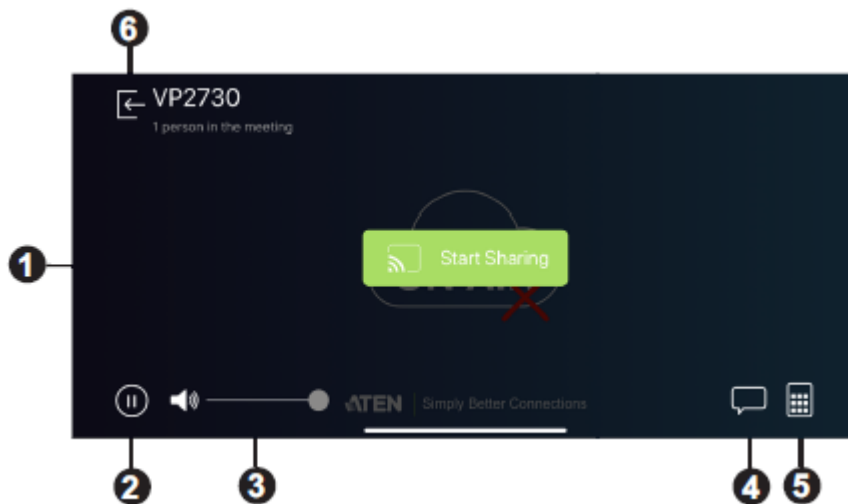
5. VP2730 の IP アドレスと部屋コード(詳細は p.39「システム設定」を参照)を入力し、「Connect」(接続)をタップしてください。

注意: 部屋コードが無効に設定されている場合は、部屋コードを入力する必要がありません。







会議画面

会議へと正常に参加した後で画面をタップすると、次のような画面が表示されます。



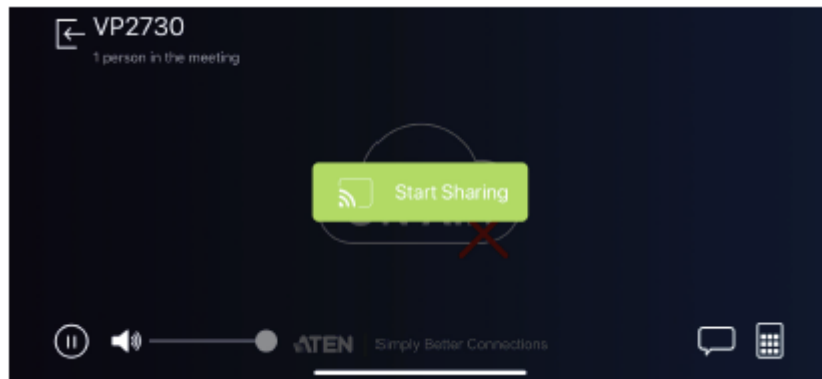
各機能に関する説明は下表のとおりです。

No.	名称	説明
1	ライブ画面	VP2730 からライブ配信されたコンテンツを、お使いのスマートフォン/タブレットに表示します。
2	再生/一時停止	このアイコンをタップすると、ライブストリーミングコンテンツを再生/一時停止します。
3	ボリューム	お使いのスマートフォン/タブレットにおけるボリュームを表示します。
4	チャットルーム 	このアイコンをタップすると、チャットパネルを表示して、他の会議参加者とテキストのやり取りやファイル共有を行うことができます。詳細は p.95「チャットルーム」を参照してください。
5	コントロールパネル 	このアイコンをタップすると、VP2730 の基本設定にアクセスします。詳細は p.96「コントロールパネル」を参照してください。
6	ログアウト 	このアイコンをタップすると、会議を退出してログアウトします。
7		このアイコンをタップすると、お使いのスマートフォン/タブレットにおける画面を共有し、この画面をすべての参加者に対して一斉配信します。詳細は p.93「コンテンツのストリーム出力」を参照してください。

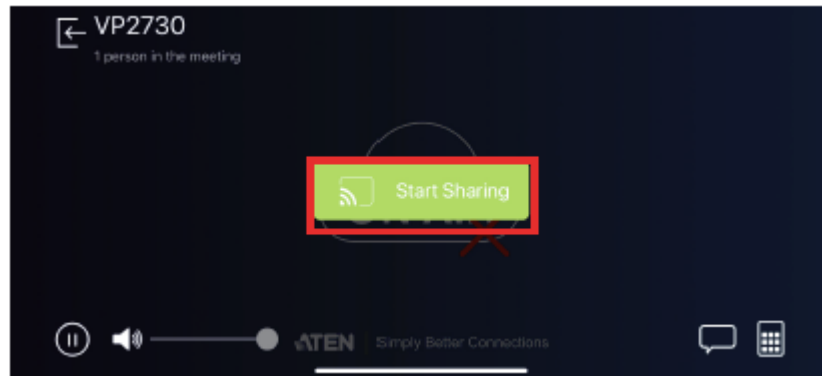
コンテンツのストリーム出力

VP2730 に接続済みの参加者は、自分の画面に表示されているコンテンツをアプリ経由で共有することができます。お使いのスマートフォン/タブレットにおけるコンテンツを共有するには、次の手順に従って操作を行ってください。

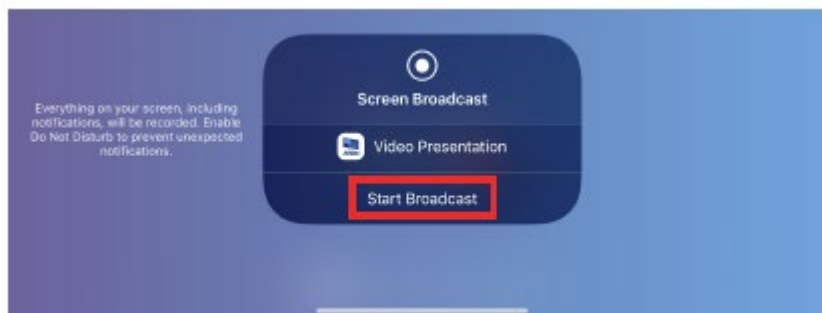
1. VP2730 で会議の参加に成功したら、お使いのスマートフォン/タブレットに表示されている画面をタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



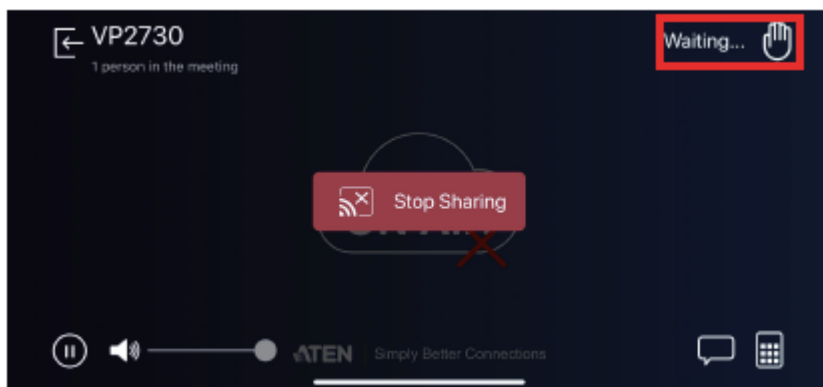
2. 「Start Sharing」(共有開始)をクリックしてください。



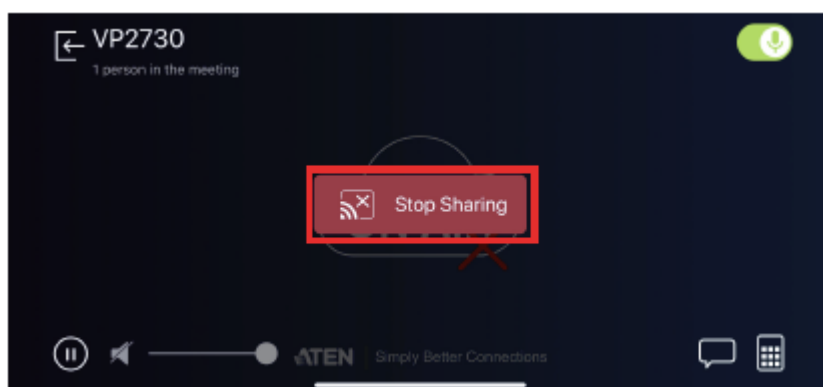
3. 下図のような警告メッセージが表示されたら、「Start Broadcast」(配信開始)をクリックしてください。




4. お使いの画面全体が、すべての会議参加者と共有されるまで待機します。ホストは共有を承認する必要があります。詳細は p.102「ソースの設定」を参照してください。

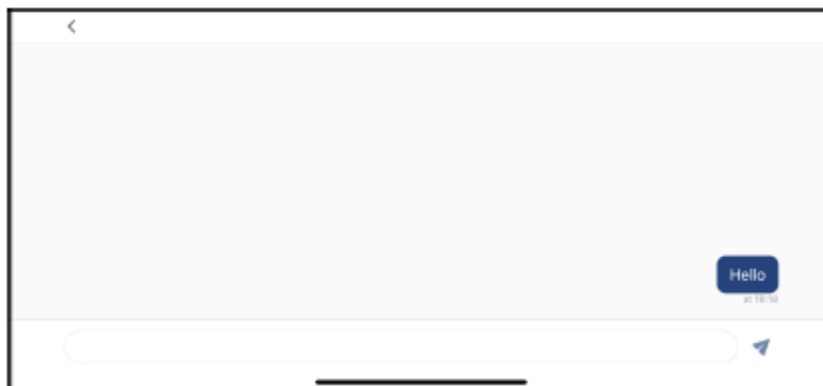



5. 共有が終了したら、スマートフォン/タブレットの表示画面をタップしてから、「Stop Sharing」(共有停止)をタップしてください。

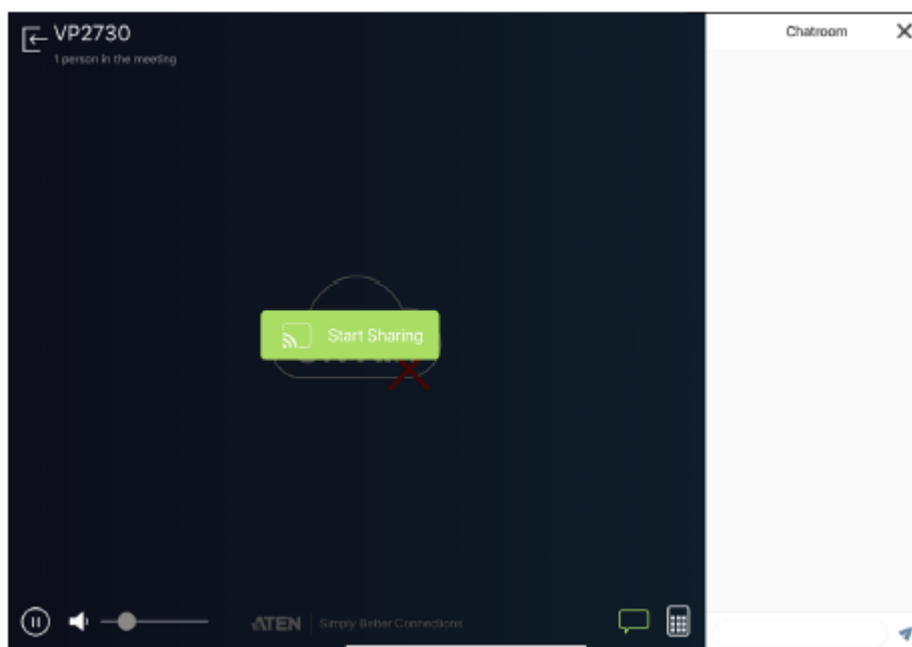


チャットルーム

チャットルームを使うと、接続済みの参加者とテキストでやり取りを行うことができます。スマートフォン/タブレットの画面で、チャットルーム  ボタンをタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。




お使いのタブレットの画面から、チャットルーム()ボタンをタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



コントロールパネル

コントロールパネルからは次のタスクを実行することができます。

- ◆ 表示ソースの切替
- ◆ 表示モード、解像度、アスペクト比の設定変更
- ◆ ネットワーク接続を介した現在表示のストリーム出力 (Go Live 機能)
- ◆ VP2730 の主要システム設定の変更
- ◆ VP2730 のシステム環境における別画面のリモート操作 (司会モード)
- ◆ 画面キャプチャの作成
- ◆ 画面のフリーズ

スマートフォン/タブレットの画面で、コントロールパネル  ボタンをタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



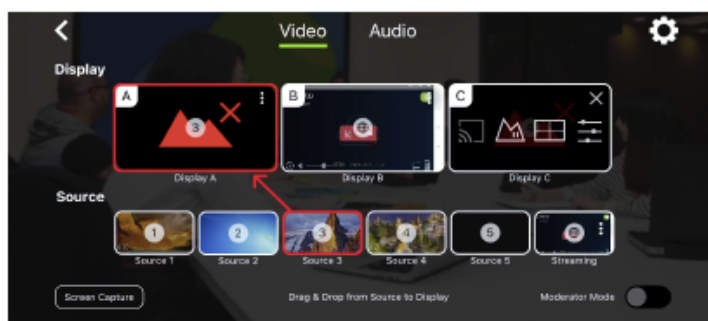
ビデオパネル



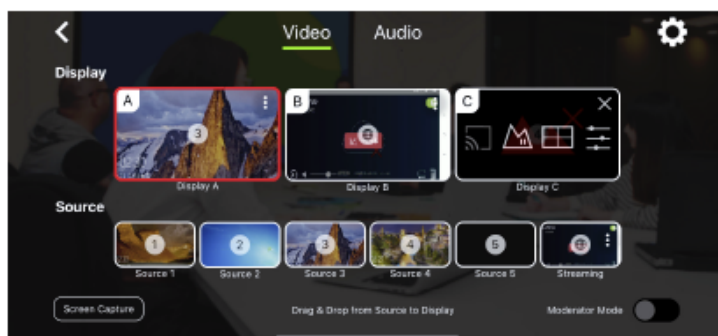
ディスプレイに対するソースの切替

ディスプレイに対してソースを切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ソース3をディスプレイAに切り替えるには、ディスプレイの画面からソースをディスプレイAにドラッグしてください。




2. この操作で、ディスプレイAがソース3のコンテンツを表示するようになります。



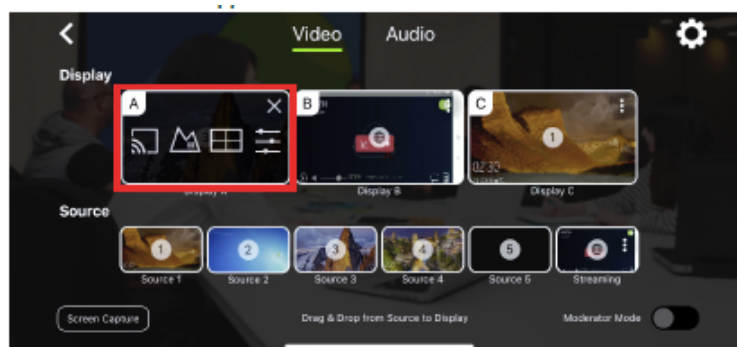
ディスプレイの特長と設定


選択されたディスプレイに対して、ライブ配信 (Go Live 機能使用) やフリーズを行ったり、マルチビューレイアウトを有効にしたり、表示設定を行ったりするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. 選択されたディスプレイの右上にある  マークをタップしてください。






2. 下図のような画面が表示されます。





ツール	説明
Go Live 	このアイコンをタップすると、ディスプレイのストリーム出力を行います。 重要: ◆ VP2730 がネットワークに接続されていて、なおかつ、このネットワークのバンド幅が 2MB 以上あることを確認してください。 ◆ 参加者 1 人あたり、最低で 2MB のバンド幅を使用します。

(表は次のページに続きます)

ツール	説明
フリーズ 	このアイコンをタップすると、選択されたディスプレイのフリーズを有効/無効にします。 重要: ◆ 司会モードが有効の場合、この機能はサポートされません。
マルチビューレイアウト 	このアイコンをタップすると、お使いの画面における表示コンテンツに対して、レイアウトフォーマットをシングルビューまたはマルチビューのいずれかに選択します。詳細は p.99「マルチビューレイアウト」を参照してください。 重要: ◆ フリーズ機能が有効の場合、この機能はサポートされません。
表示設定 	このアイコンをタップすると、アスペクト比、解像度、自動切替といった表示設定を行います。詳細は p.100「表示設定」を参照してください。

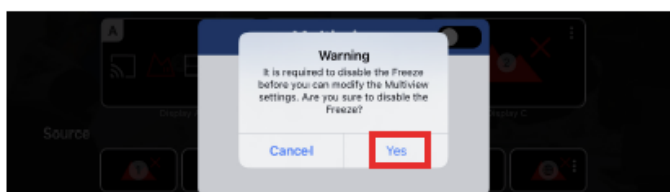
マルチビューレイアウト

接続されたソースに対してマルチビューレイアウトを選択するには、次の手順に従って操作を行ってください。

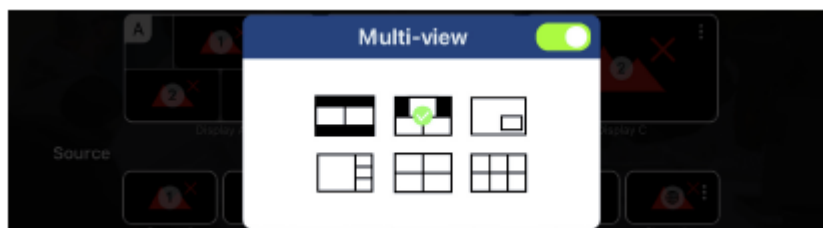
1. 選択されたディスプレイで、 をタップしてください。そうすると、次のような画面が表示されますので、 を操作してマルチビューを有効にしてください。




2. 警告メッセージが表示されたら、「Yes」(はい)をタップしてください。

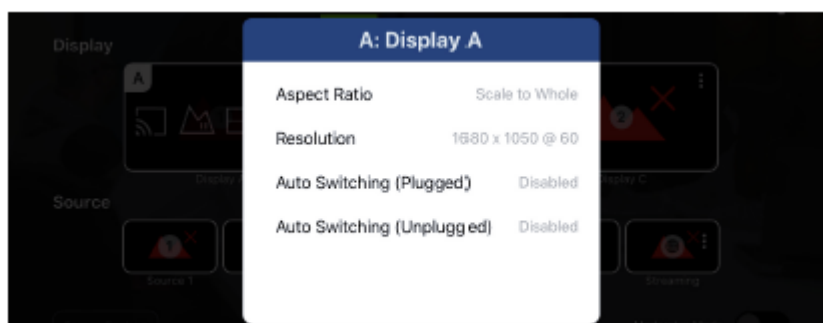


3. これでマルチビュー機能が有効になりましたので、目的のレイアウトを選択することができます。



表示設定

選択されたディスプレイに対してシステム設定を行うには、 をタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



システム設定		説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。		
全般	アスペクト比	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Scale to whole (全体に引き伸ばす): ディスプレイの上下左右を最大限に引き伸ばします。 ◆ Auto fit (自動調整): コンテンツを画面に収めながら、ディスプレイに合うように、ビデオを相対的にスケールリングします。この設定にした場合、画面の上下または左右にブランク部分が残る場合があります。 ◆ Auto cut (自動カット): 画面全体にビデオが表示されるよう、相対的にスケールリングします。この設定にした場合、ディスプレイの範囲内に収まらなかった部分はカットされます。

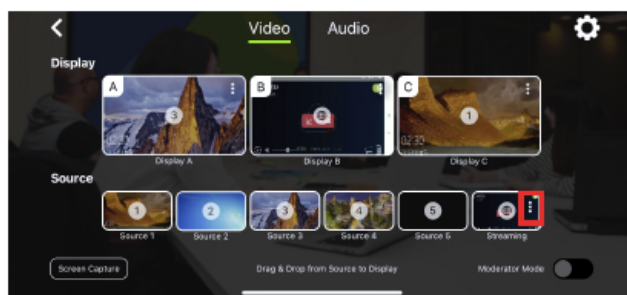
(表は次のページに続きます)

システム設定		説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。		
全般 (続き)	解像度	ディスプレイの解像度とリフレッシュレートの設定を選択します。この項目は、ディスプレイが VP2730 に接続されている場合にのみ利用可能になります。
	自動切替(接続済み) 注意: このオプションはディスプレイ A のみで利用可能です。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable(無効) ◆ Next(次):新たに検出されたソースへと自動的に切り替えます。
	自動切替(未接続) 注意: このオプションはディスプレイ A のみで利用可能です。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable(無効) ◆ Next(次):新たに検出されたソースへと自動的に切り替えます。 ◆ Last(前):前に検出されたソースへと自動的に切り替えます。

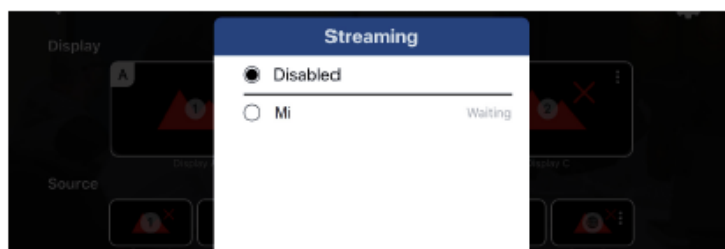
ソースの設定

ストリーム入力ソースを承認または終了するには、次の手順に従って操作を行ってください。


1. ストリーミングソースで、 をタップしてください。



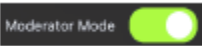
2. 下図のような画面が表示されたら、ストリーム入力ソースを承認したり、無効にしたりすることができます。



画面のキャプチャ

画面のキャプチャを行うには、 をタップしてください。キャプチャされたイメージは、VP2730 の USB ポートに接続されたストレージデバイスに保存されます。この機能を使用する前に、ストレージデバイスが VP2730 に接続されていることを確認してください。

司会モード

司会モードを有効にするには、 をタップしてください。このモードが有効になると、ボタンがグリーンで表示されます 。詳細は、p.37「司会モード(リモート画面操作)」を参照してください。

オーディオパネル




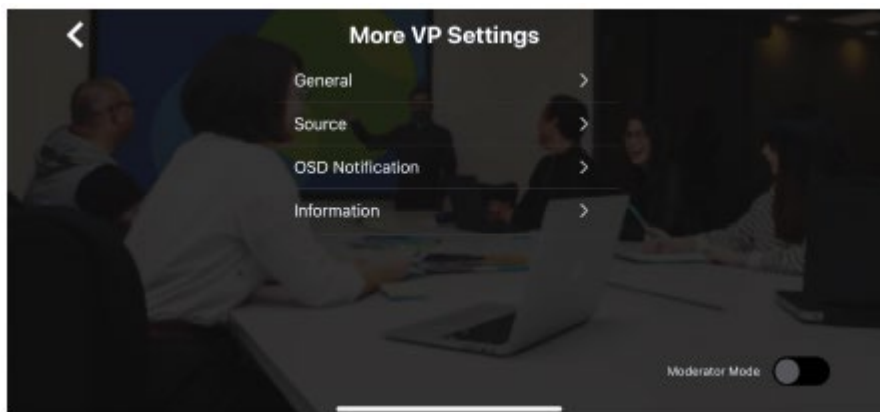
システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ)	Overall Volume (全体の ボリューム)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	VP2730 に接続されたスピーカーのボリュームを設定します。🔊 をタップすると、ミュート(消音)にします。
	Mic Volume (マイク ボリューム)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	VP2730 に接続されたマイクのボリュームを設定します。🔊 をタップすると、ミュート(消音)にします。
	Mic Gain (マイク ゲイン)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ +0dB ◆ +10dB ◆ +20dB ◆ +30dB 	VP2730 に接続されたマイクのゲインを設定します。

(表は次のページに続きます)


システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ) (続き)	Streaming Volume (ストリーミングボ リューム)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	ストリーム入力されたソースのボリ ュームを設定します。  をタッ プすると、ミュート(消音)にしま す。
	Audio In Volume (オーディオ入力 ボリューム)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	VP2730 のソース 2 のオーディオ ジャックに接続されたソースのボリ ュームを設定します。  をタッ プすると、ミュート(消音)にしま す。
	HDMI, DP In Volume (HDMI、DP 入力 ボリューム)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	接続ソースのボリュームを設定し ます。  をタップすると、ミュ ート(消音)にします。

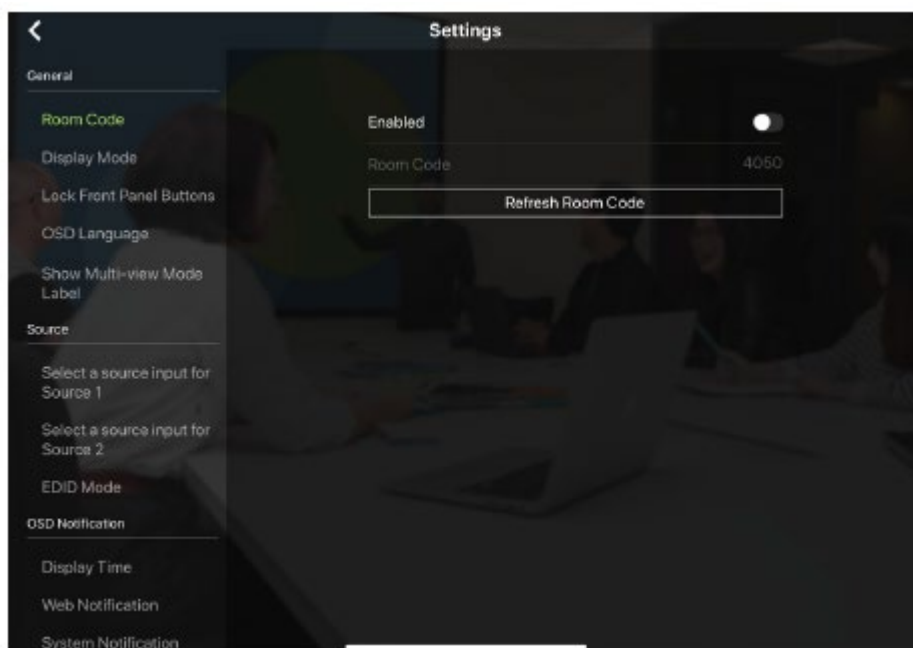
詳細 VP 設定

VP2730 に対して、さらに詳しい設定を行うには、スマートフォン/タブレットで**詳細 VP 設定**  ボタンをタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。

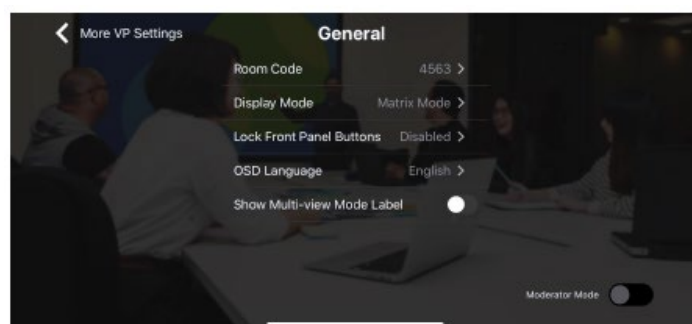


あるいは

お使いのタブレットの画面で**詳細 VP 設定**  ボタンをタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。

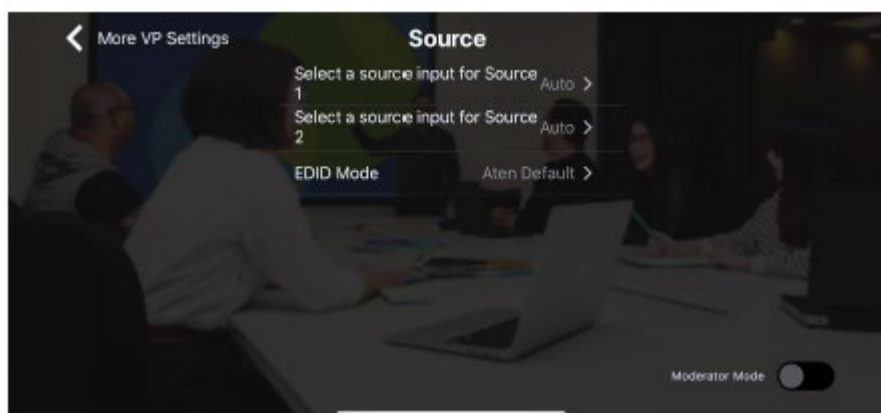


全般



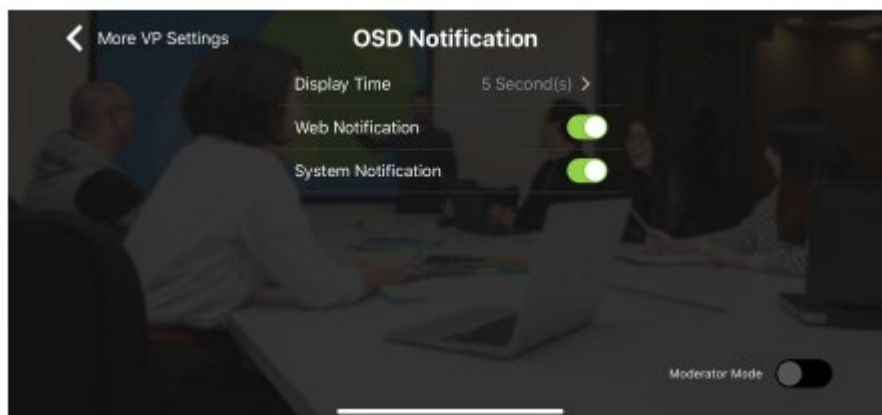
システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
General (全般)	Room Code (部屋コード)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable (無効) ◆ Refresh code (コードの再生成) 	設定を有効にすると、ランダムな部屋コードを生成します。このコードは、VP2730 の Web インターフェース経由で会議に参加するのに必要となります。
	Display Mode (表示モード)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Matrix (マトリックス) ◆ Mirror (ミラー) 	接続ディスプレイは、それぞれ相互にミラーリングを行い、別の設定を受け入れることはありません。チェックボックスを有効にすると、ディスプレイ A の設定がディスプレイ B へと自動的に適用されます。詳細は p.35「表示モードの変更」を参照してください。
	Lock Front Panel Buttons (フロントパネルボタンのロック)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable(無効) ◆ 5sec later (5 秒後) ◆ 30sec later (30 秒後) ◆ 5mins later (5 分後) 	OSD のアイドル状態がどれくらい続いた場合に、フロントパネルのボタンを自動ロックするのかを設定します。
	OSD Language (OSD 言語)		OSD における表示言語を設定します。
	Show Multi-view Mode Label (マルチビューモードのラベル表示)		マルチビューモードのソースラベルを表示するように設定します。

ソース



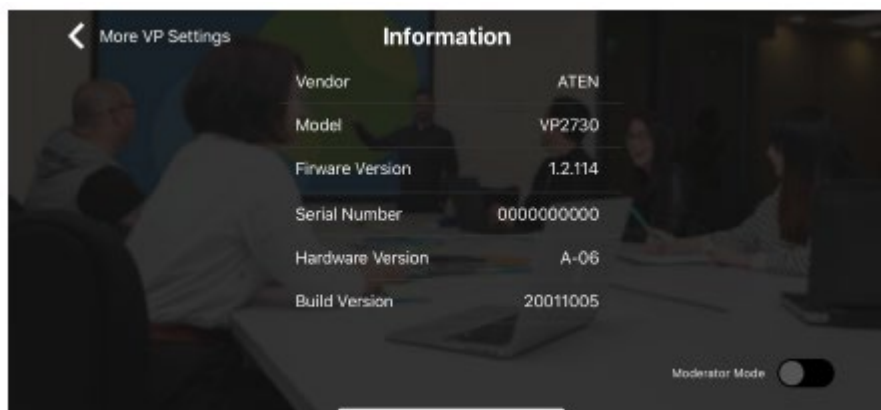
システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Source (ソース)	Select a source input for Source 1 (ソース 1 に対するソース入力選択)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Auto (自動) ◆ HDMI ◆ DP 	ソース 1/ソース 2 に対して優先されるポートを設定します。「 Auto 」(自動)を選択すると、最初にソースとして検出された入力が優先されます。
	Select a source input for Source 2 (ソース 2 に対するソース入力選択)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Auto (自動) ◆ HDMI ◆ VGA 	
	EDID Mode (EDID モード)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ATEN Default (ATEN デフォルト) ◆ Display A (ディスプレイ A) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ATEN default (ATEN デフォルト): プリセットされた EDID を、接続ソースへと送信します。 ◆ Display A (ディスプレイ A): 接続ソースに対して、ディスプレイ A の EDID 情報を送信します。

OSD 通知



システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
OSD Notifications (OSD 通知)	Display Time (表示時間)	◆ 3sec (3 秒)	OSD における通知メッセージのポップアップ表示を ON/OFF にします。ON にする場合は、OSD にポップアップ表示する秒数を設定します。
		◆ 5sec (5 秒)	
		◆ 10sec (10 秒)	
		◆ Disable (無効)	
	Web Notification (Web 通知)	◆ Disable (無効)	Web インターフェース経由で行われたユーザーアクションの通知表示を ON/OFF にします。
		◆ Enable (有効)	
	System Notification (システム通知)	◆ Disable (無効)	システムの状態やデバイスの接続状態、また、OSD 経由で行われたユーザーアクションの通知表示を ON/OFF にします。
		◆ Enable (有効)	

情報

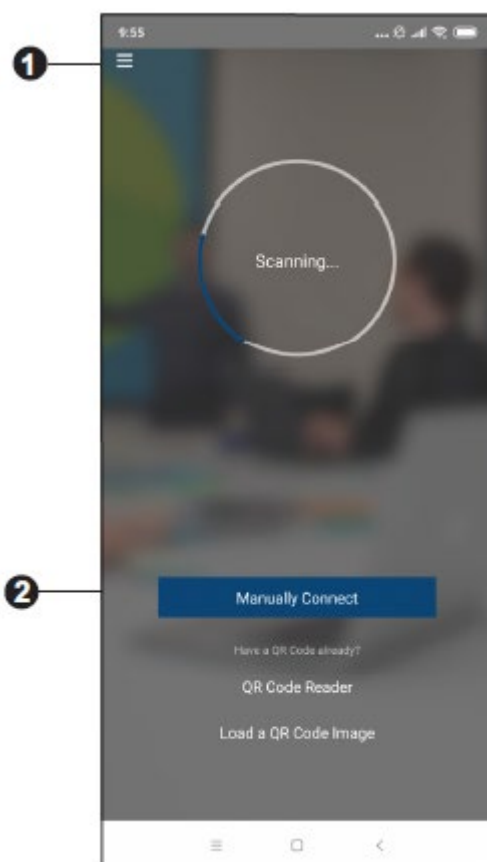



システム設定		説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。		
Information (情報)	ベンダ、ファームウェアバージョン、シリアル番号、ハードウェアバージョン、ビルドバージョン	システム情報を表示します。

Android 版

メイン画面

ATEN ビデオ制御アプリにログインすると、デフォルトでスキャン画面に遷移します。各タブの機能概要については、下表を参照してください。



No.	名称	説明
1	情報 	このアイコンをタップすると、バージョン、プライバシーポリシー、問い合わせ先といった情報が表示されます。
2	Manually Connect (手動接続)	このアイコンをタップすると、IP アドレスまたは 4 桁の部屋コードを入力して手動接続し、会議に参加します。

注意: QR コードリーダーおよび QR コードイメージの読み込み機能は、VP2730 に搭載されていません。

情報

次の画面は、情報画面の外観です。ここには、バージョン、プライバシーポリシー、問い合わせ先といった情報が表示されます。「Contact us」(お問い合わせ)をタップすると、ATEN 公式 Web サイトに接続します。



注意: 特に指定されない限り、本マニュアルで使用される画面キャプチャはすべてスマートフォンにおけるものです。タブレットにおける実際の画面レイアウトは、これらの例とは異なる場合があります。

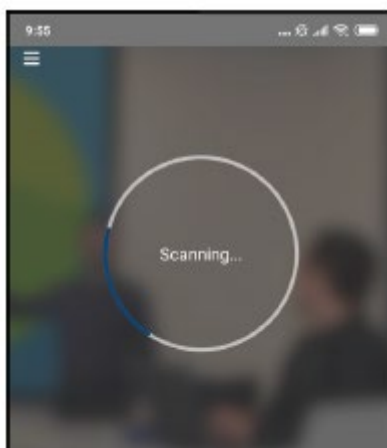
会議への参加

VP2730でATENビデオプレゼン制御アプリを介して会議に参加するには3つの方法があります。アプリが開いている場合、アクセスできるデバイスや利用可能な部屋を自動的にスキャンします。あるいは、IPアドレスや部屋コードを手入力したり、QRコードを使用したりすることも、会議に参加することができます。いずれの方法についても、次に説明します。

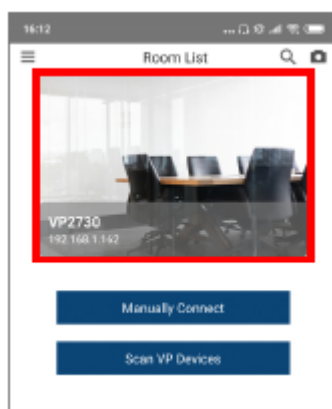
自動で会議に参加するには

自動スキャンを行って会議に参加するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ATENビデオプレゼン制御アプリを開いて、スキャン処理が完了するまでお待ちください。

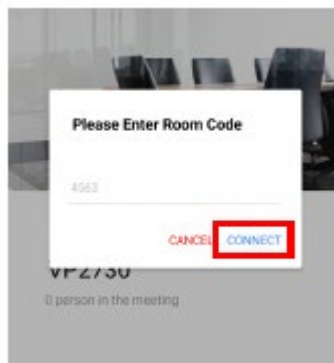


2. スキャンが完了すると、「Room List」(部屋一覧)画面が表示されます。部屋をタップして会議に参加してください。

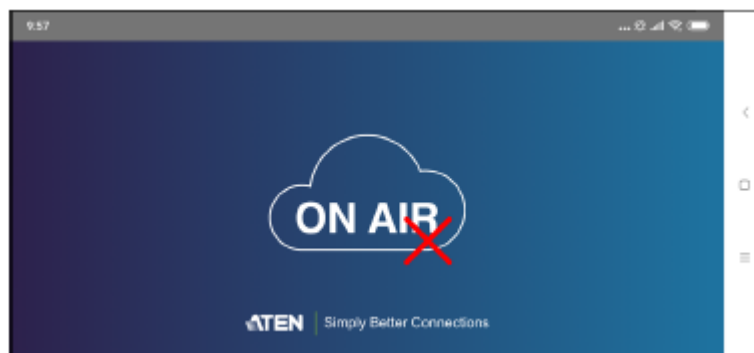


3. 部屋コード(詳細は p.39「システム設定」を参照)を入力したら、「Connect」(接続)をタップしてください。

注意: 部屋コードが無効に設定されている場合は、部屋コードを入力する必要がありません。



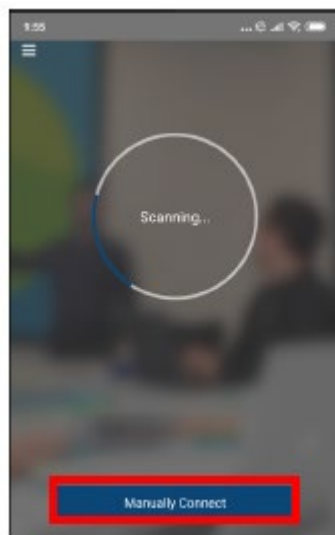
4. これで、正常に会議へと参加できたことになります。



手動接続で会議に参加するには

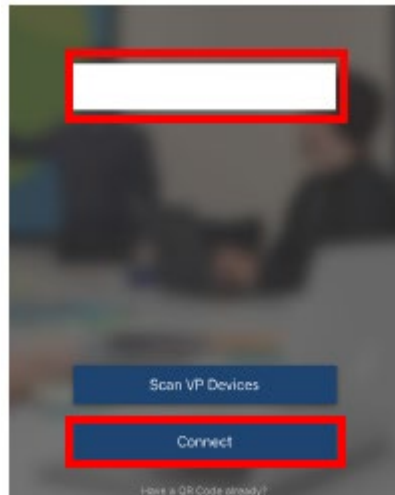
手動で接続して会議に参加するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ATEN ビデオプレゼン制御アプリを開いて、「**Manually Connect**」(手動接続)をタップしてください。



2. VP2730 の IP アドレス、および必要とされる部屋コードを入力し、「**Connect**」(接続)をタップしてください。

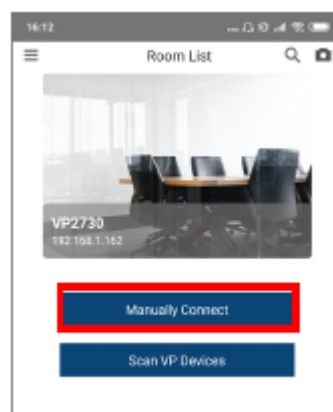
注意: 部屋コードが無効に設定されている場合は、部屋コードを入力する必要がありません。



3. これで、正常に会議へと参加できたことになります。

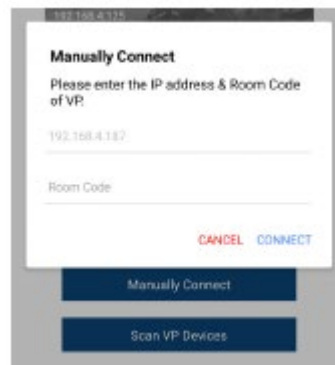
または

4. 「Room List」(部屋一覧)画面から「**Manually Connect**」(手動接続)をタップしてください。



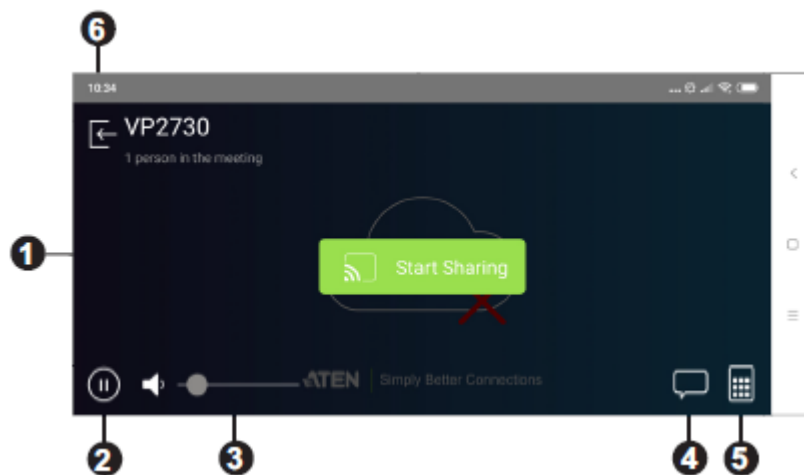
5. VP2730 の IP アドレスと部屋コード(詳細は p.39「システム設定」を参照)を入力し、「Connect」(接続)をタップしてください。

注意: 部屋コードが無効に設定されている場合は、部屋コードを入力する必要がありません。







会議画面

会議へと正常に参加した後で画面をタップすると、次のような画面が表示されます。



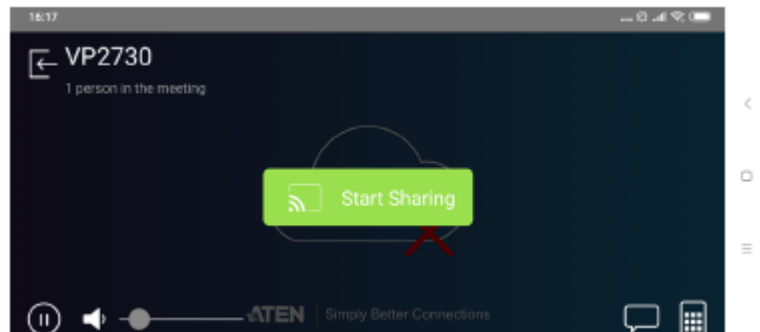
各機能に関する説明は下表のとおりです。

No.	名称	説明
1	ライブ画面	VP2730 からライブ配信されたコンテンツを、お使いのスマートフォン/タブレットに表示します。
2	再生/一時停止	このアイコンをタップすると、ライブストリーミングコンテンツを再生/一時停止します。
3	ボリューム	お使いのスマートフォン/タブレットにおけるボリュームを表示します。
4	チャットルーム 	このアイコンをタップすると、チャットパネルを表示して、他の会議参加者とテキストのやり取りやファイル共有を行うことができます。詳細は p.120「チャットルーム」を参照してください。
5	コントロールパネル 	このアイコンをタップすると、VP2730 の基本設定にアクセスします。詳細は p.121「コントロールパネル」を参照してください。
6	ログアウト 	このアイコンをタップすると、会議を退出してログアウトします。
7		このアイコンをタップすると、お使いのスマートフォン/タブレットにおける画面を共有し、この画面をすべての参加者に対して一斉配信します。詳細は p.118「コンテンツのストリーム出力」を参照してください。

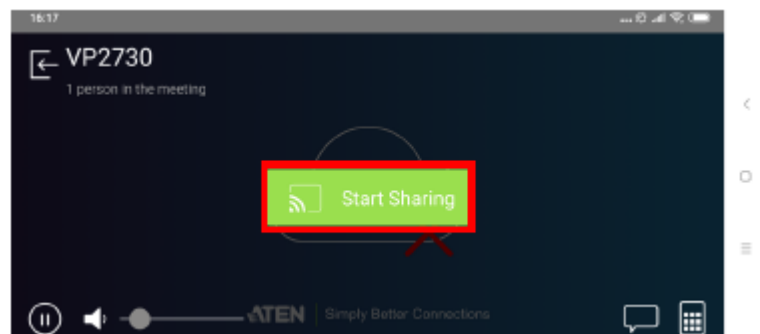
コンテンツのストリーム出力

VP2730 に接続済みの参加者は、自分の画面に表示されているコンテンツをアプリ経由で共有することができます。お使いのスマートフォン/タブレットにおけるコンテンツを共有するには、次の手順に従って操作を行ってください。

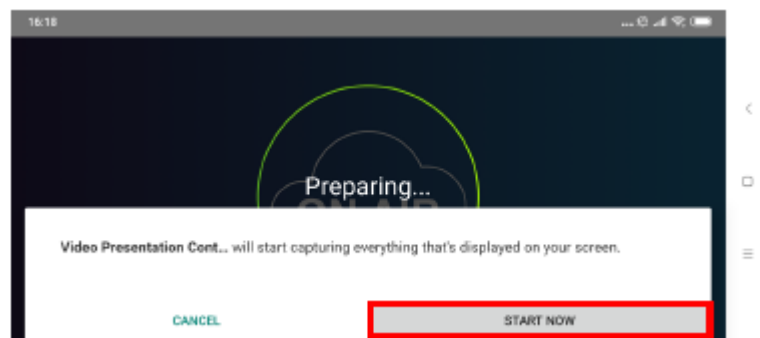
1. VP2730 で会議の参加に成功したら、お使いのスマートフォン/タブレットに表示されている画面をタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



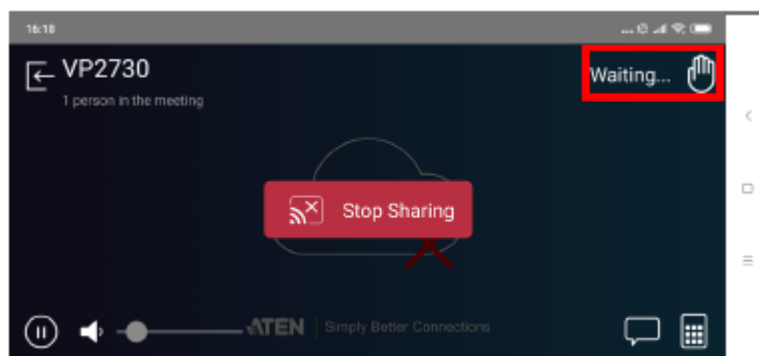
2. 「Start Sharing」(共有開始)をクリックしてください。



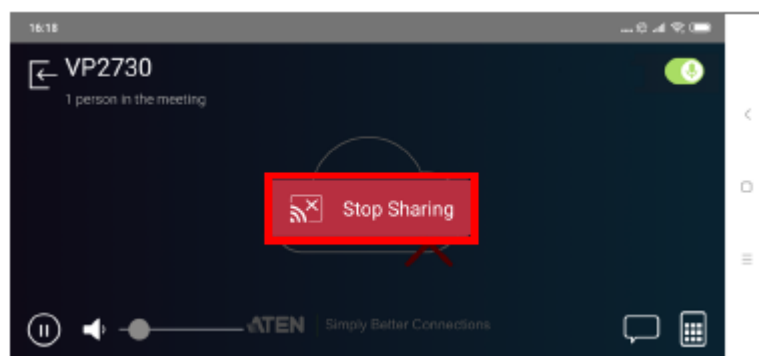
3. 下図のような警告メッセージが表示されたら、「Start Broadcast」(配信開始)をクリックしてください。




4. お使いの画面全体がすべての会議参加者と共有されるまで待機します。ホストは共有を OSD 経由で承認する必要があります。詳細は p.127「ソースの設定」を参照してください。




5. 共有が終了したら、スマートフォン/タブレットの表示画面をタップしてから、「Stop Sharing」(共有停止)をタップしてください。

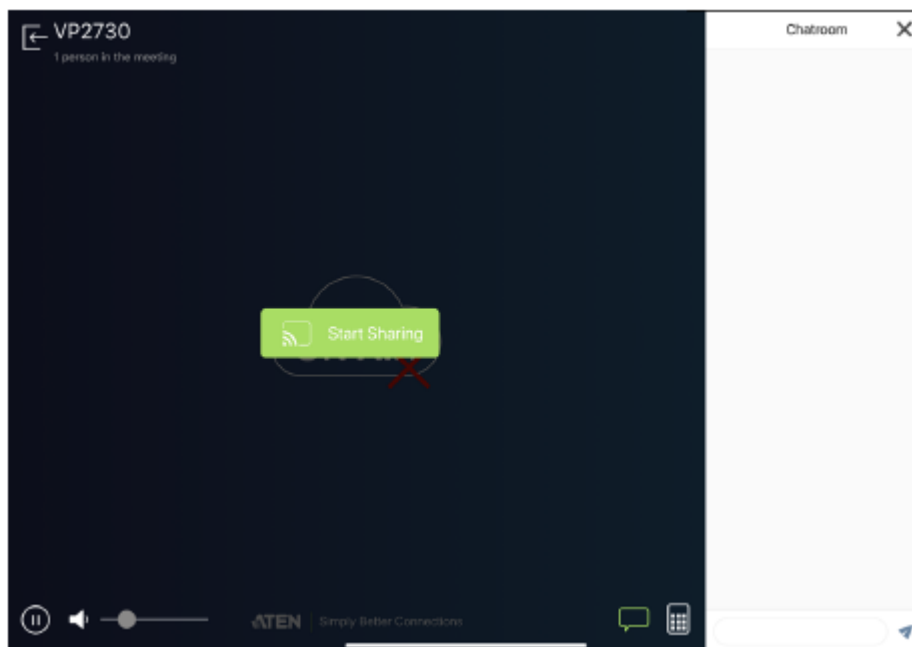


チャットルーム

チャットルームを使うと、接続済みの参加者とテキストでやり取りを行うことができます。スマートフォン/タブレットの画面で、チャットルーム  ボタンをタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。




お使いのタブレットの画面から、チャットルーム () ボタンをタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。

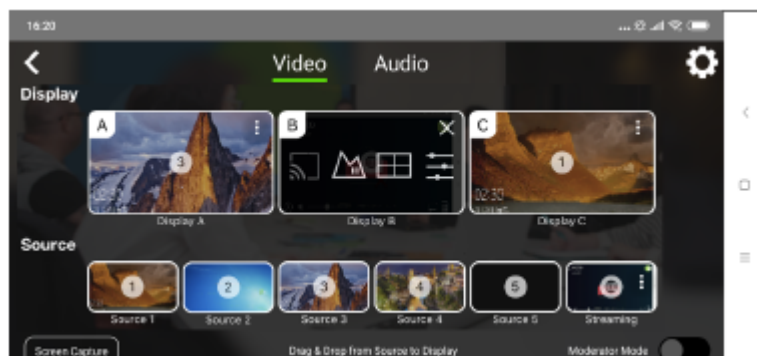


コントロールパネル

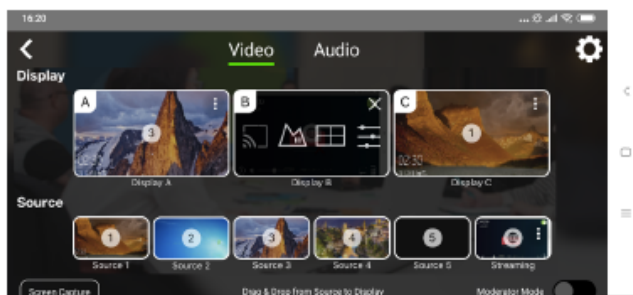
コントロールパネルからは次のタスクを実行することができます。

- ◆ 表示ソースの切替
- ◆ 表示モード、解像度、アスペクト比の設定変更
- ◆ ネットワーク接続を介した現在表示のストリーム出力 (Go Live 機能)
- ◆ VP2730 の主要システム設定の変更
- ◆ VP2730 のシステム環境における別画面のリモート操作 (司会モード)
- ◆ 画面キャプチャの作成
- ◆ 画面のフリーズ

スマートフォン/タブレットの画面で、コントロールパネル  ボタンをタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



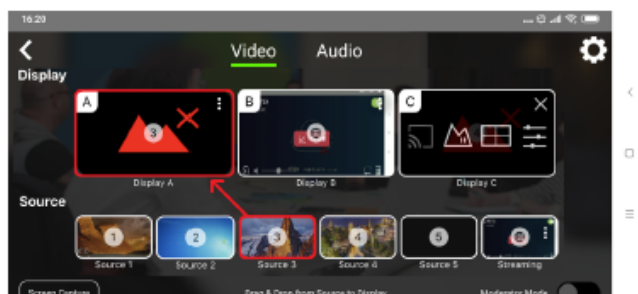
ビデオパネル



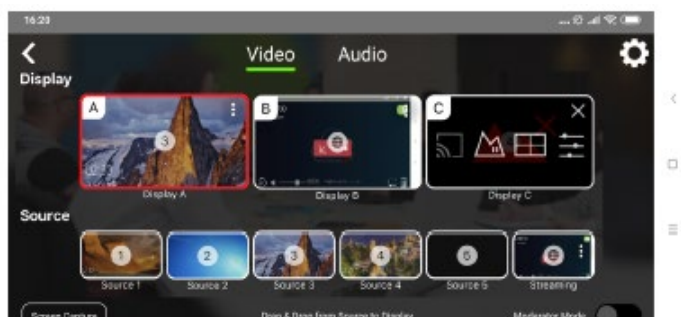
ディスプレイに対するソースの切替

ディスプレイに対してソースを切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ソース3をディスプレイAに切り替えるには、ディスプレイの画面からソースをディスプレイAにドラッグしてください。




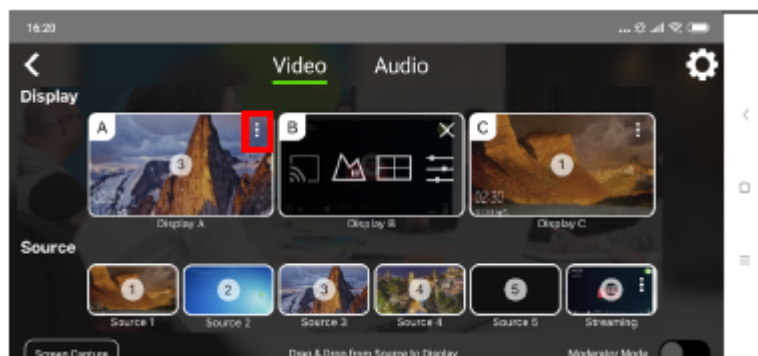
2. この操作で、ディスプレイAがソース3のコンテンツを表示するようになります。



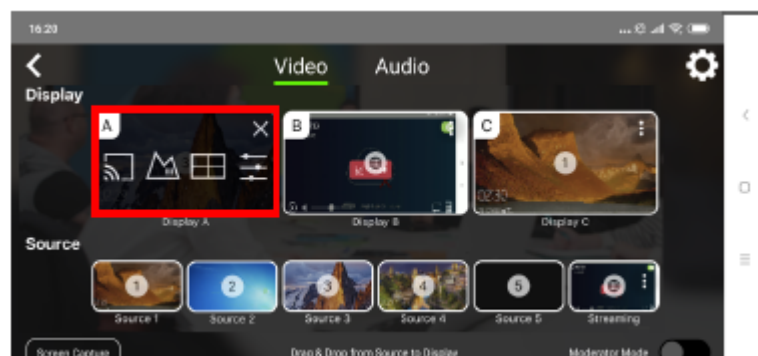
ディスプレイの特長と設定


選択されたディスプレイに対して、ライブ配信 (Go Live 機能使用) やフリーズを行ったり、マルチビューレイアウトを有効にしたり、表示設定を行ったりするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. 選択されたディスプレイの右上にある  マークをタップしてください。






2. 下図のような画面が表示されます。





ツール	説明
Go Live 	このアイコンをタップすると、ディスプレイのストリーム出力を行います。 重要: ◆ VP2730 がネットワークに接続されていて、なおかつ、このネットワークのバンド幅が 2MB 以上あることを確認してください。 ◆ 参加者 1 人あたり、最低で 2MB のバンド幅を使用します。

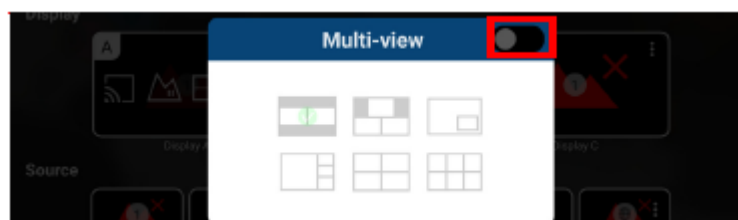
(表は次のページに続きます)

ツール	説明
フリーズ 	このアイコンをタップすると、選択されたディスプレイのフリーズを有効/無効にします。 重要: ◆ 司会モードが有効の場合、この機能はサポートされません。
マルチビューレイアウト 	このアイコンをタップすると、お使いの画面における表示コンテンツに対して、レイアウトフォーマットをシングルビューまたはマルチビューのいずれかに選択します。詳細は p.124「マルチビューレイアウト」を参照してください。 重要: ◆ フリーズ機能が有効の場合、この機能はサポートされません。
表示設定 	このアイコンをタップすると、アスペクト比、解像度、自動切替といった表示設定を行います。詳細は p.125「表示設定」を参照してください。

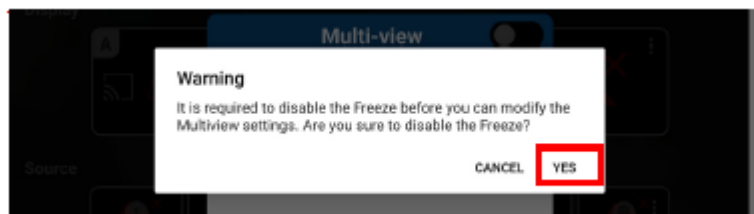
マルチビューレイアウト

接続されたソースに対してマルチビューレイアウトを選択するには、次の手順に従って操作を行ってください。

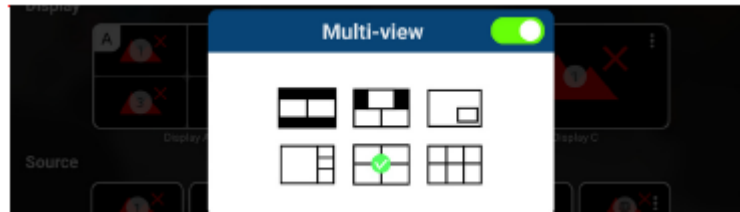
1. 選択されたディスプレイで、 をタップしてください。そうすると、次のような画面が表示されますので、 を操作してマルチビューを有効にしてください。




2. 警告メッセージが表示されたら、「Yes」(はい)をタップしてください。



3. これでマルチビュー機能が有効になりましたので、目的のレイアウトを選択することができます。



表示設定

選択されたディスプレイに対してシステム設定を行うには、 をタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



システム設定		説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。		
全般	アスペクト比	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Scale to whole (全体に引き伸ばす): ディスプレイの上下左右を最大限に引き伸ばします。 ◆ Auto fit (自動調整): コンテンツを画面に収めながら、ディスプレイに合うように、ビデオを相対的にスケーリングします。この設定にした場合、画面の上下または左右にブランク部分が残る場合があります。 ◆ Auto cut (自動カット): 画面全体にビデオが表示されるよう、相対的にスケーリングします。この設定にした場合、ディスプレイの範囲内に収まらなかった部分はカットされます。

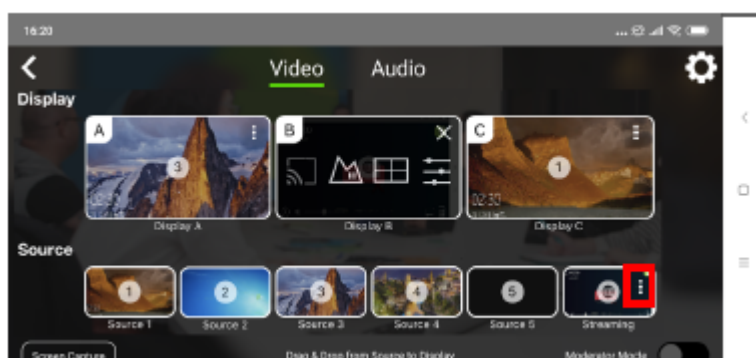
(表は次のページに続きます)

システム設定		説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。		
全般 (続き)	解像度	ディスプレイの解像度とリフレッシュレートの設定を選択します。この項目は、ディスプレイが VP2730 に接続されている場合にのみ利用可能になります。
	自動切替(接続済み) 注意: このオプションはディスプレイ A のみで利用可能です。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable(無効) ◆ Next(次):新たに検出されたソースへと自動的に切り替えます。
	自動切替(未接続) 注意: このオプションはディスプレイ A のみで利用可能です。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable(無効) ◆ Next(次):新たに検出されたソースへと自動的に切り替えます。 ◆ Last(前):前に検出されたソースへと自動的に切り替えます。

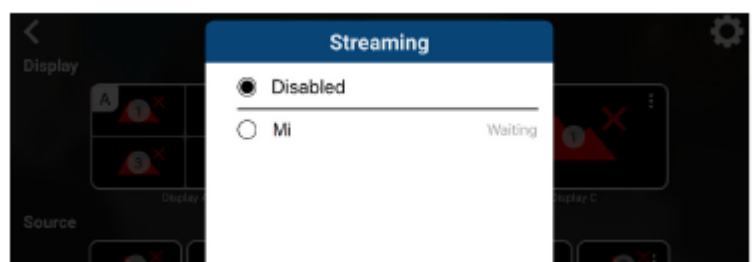
ソースの設定

ストリーム入力ソースを承認または終了するには、次の手順に従って操作を行ってください。


1. ストリーミングソースで、 をタップしてください。





2. 下図のような画面が表示されるので、ストリーム入力ソースを承認または無効にすることができます。



画面のキャプチャ

画面のキャプチャを行うには、 をタップしてください。キャプチャされたイメージは、VP2730のUSBポートに接続されたストレージデバイスに保存されます。この機能を使用する前に、ストレージデバイスがVP2730に接続されていることを確認してください。

司会モード

司会モードを有効にするには、 をタップしてください。このモードが有効になると、ボタンがグリーンで表示されます 。詳細は、p.37「司会モード(リモート画面操作)」を参照してください。

オーディオパネル




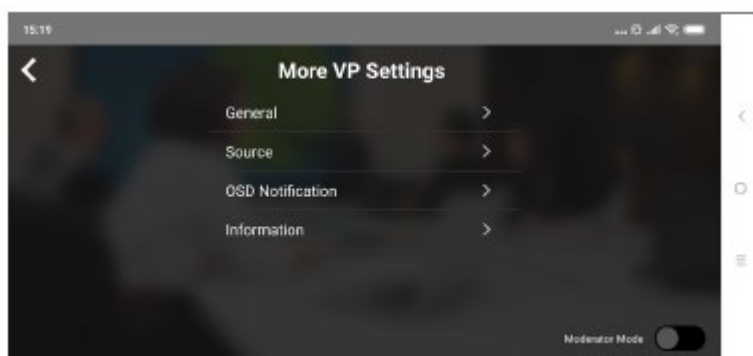
システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ)	Overall Volume (全体のボリューム)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	VP2730 に接続されたスピーカーのボリュームを設定します。🔊 をタップすると、ミュート(消音)にします。
	Mic Volume (マイクボリューム)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	VP2730 に接続されたマイクのボリュームを設定します。🔊 をタップすると、ミュート(消音)にします。
	Mic Gain (マイクゲイン)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ +0dB ◆ +10dB ◆ +20dB ◆ +30dB 	VP2730 に接続されたマイクのゲインを設定します。

(表は次のページに続きます)


システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Audio (オーディオ) (続き)	Streaming Volume (ストリーミングボ リューム)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	ストリーム入力されたソースのボリ ュームを設定します。  をタッ プすると、ミュート(消音)にしま す。
	Audio In Volume (オーディオ入力 ボリューム)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	VP2730 のソース 2 のオーディオ ジャックに接続されたソースのボリ ュームを設定します。  をタッ プすると、ミュート(消音)にしま す。
	HDMI, DP In Volume (HDMI、DP 入力 ボリューム)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Increase (+) (上げる (+)) ◆ Decrease (-) (下げる (-)) ◆ Mute (ミュート) 	接続ソースのボリュームを設定し ます。  をタップすると、ミュ ート(消音)にします。

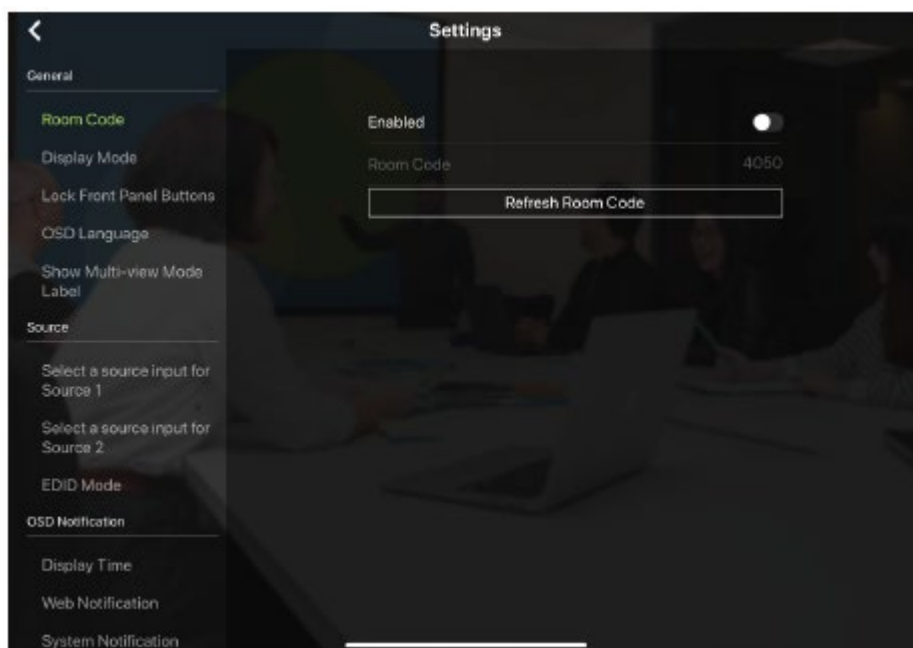
詳細 VP 設定

VP2730 に対して、さらに詳しい設定を行うには、スマートフォン/タブレットで**詳細 VP 設定**  ボタンをタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。

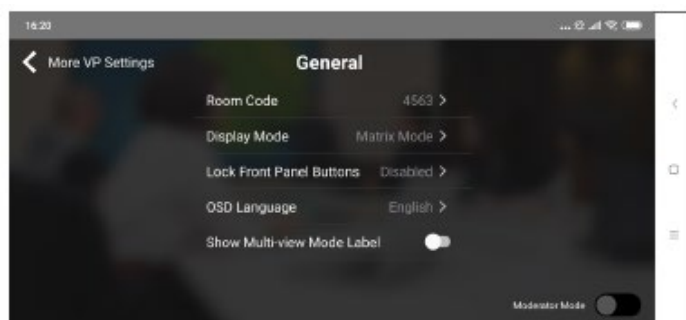


あるいは

お使いのタブレットの画面で**詳細 VP 設定**  ボタンをタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。

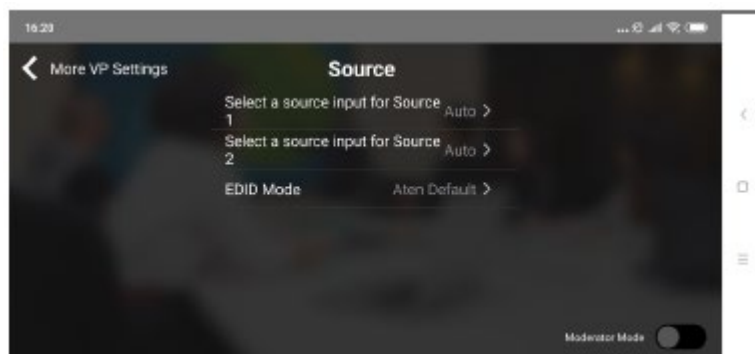


全般



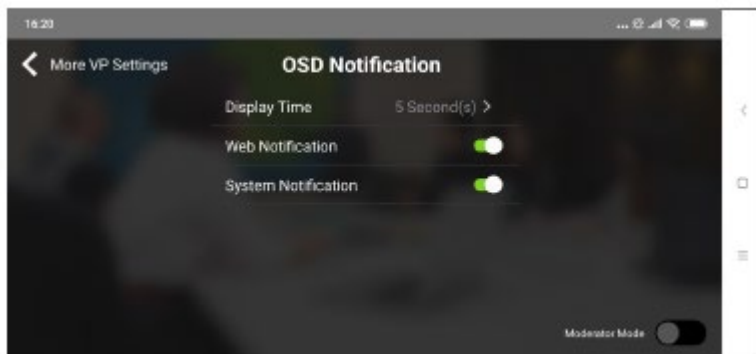
システム設定		説明	
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
General (全般)	Room Code (部屋コード)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable (無効) ◆ Refresh code (コードの再生成) 	設定を有効にすると、ランダムな部屋コードを生成します。このコードは、VP2730 の Web インターフェース経由で会議に参加するのに必要となります。
	Display Mode (表示モード)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Matrix (マトリックス) ◆ Mirror (ミラー) 	接続ディスプレイは、それぞれ相互にミラーリングを行い、別の設定を受け入れることはありません。チェックボックスを有効にすると、ディスプレイ A の設定がディスプレイ B へと自動的に適用されます。詳細は p.35「表示モードの変更」を参照してください。
	Lock Front Panel Buttons (フロントパネルボタンのロック)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable(無効) ◆ 5sec later (5 秒後) ◆ 30sec later (30 秒後) ◆ 5mins later (5 分後) 	OSD のアイドル状態がどれくらい続いた場合に、フロントパネルのボタンを自動ロックするのかを設定します。
	OSD Language (OSD 言語)		OSD における表示言語を設定します。
	Show Multi-view Mode Label (マルチビューモードのラベルを表示する)		マルチビューモードのソースラベルを表示するように設定します。

ソース



システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
Source (ソース)	Select a source input for Source 1 (ソース 1 に対するソース入力選択)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Auto (自動) ◆ HDMI ◆ DP 	ソース 1/ソース 2 に対して優先されるポートを設定します。「 Auto 」(自動)を選択すると、最初にソースとして検出された入力が優先されます。
	Select a source input for Source 2 (ソース 2 に対するソース入力選択)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Auto (自動) ◆ HDMI ◆ VGA 	
	EDID Mode (EDID モード)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ATEN Default (ATEN デフォルト) ◆ Display A (ディスプレイ A) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ATEN default (ATEN デフォルト): プリセットされた EDID を、接続ソースへと送信します。 ◆ Display A (ディスプレイ A): 接続ソースに対して、ディスプレイ A の EDID 情報を送信します。

OSD 通知



システム設定			説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。			
OSD Notifications (OSD 通知)	Display Time (表示時間)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 3sec (3 秒) ◆ 5sec (5 秒) ◆ 10sec (10 秒) ◆ Disable (無効) 	OSD における通知メッセージのポップアップ表示を ON/OFF にします。ON にする場合は、OSD にポップアップ表示する秒数を設定します。
	Web Notification (Web 通知)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable (無効) ◆ Enable (有効) 	Web インターフェース経由で行われたユーザーアクションの通知表示を ON/OFF にします。
	System Notification (システム通知)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Disable (無効) ◆ Enable (有効) 	システムの状態やデバイスの接続状態、また、OSD 経由で行われたユーザーアクションの通知表示を ON/OFF にします。

情報



システム設定		説明
注意: デフォルト設定は太字で記載します。		
Information (情報)	ベンダ、ファームウェアバージョン、シリアル番号、ハードウェアバージョン、ビルドバージョン	システム情報を表示します。

付録

製品仕様

機能	VP2730
ビデオ入力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×5 (Black) DisplayPort メス×1 (Black) D-sub15 ピン メス×1 (Blue)
ビデオ出力	
インターフェース	HDMI Type-A メス×2 (Black) HDBaseT:RJ-45 メス×1 (Silver)
最大距離	HDMI: 15m HDBaseT:1080p@60m (Cat5e/6) / 70m (Cat6a/ATEN 2L-2910 Cat6)
ビデオ	
最大解像度	HDMI/DisplayPort:1080p@60Hz VGA/アナログ:1920×1200@60Hz
規格準拠	HDMI/DisplayPort:HDCP 1.4 準拠、CEC
オーディオ	
入力	ステレオオーディオ:ステレオミニジャック メス×1 (Green) バランスオーディオ:5 極着脱式ターミナルブロック×1 マイク:3 極着脱式ターミナルブロック×1
出力	光オーディオ:Toslink×1 (Black) 同軸オーディオ:RCA メス×1 (Orange) ステレオオーディオ:RCA メス×2 (White / Red)
コネクタ	
コンソールポート	USB 2.0:USB Type-A メス×2 (White) USB 3.0:USB Type-A メス×1 (Blue)
電源	3 極 AC 電源ソケット×1

(表は次のページに続きます)

機能	VP2730
制御	
RS-232	DB-9 メス×1 (Black)
IR	ステレオミニジャック メス×1 (Black)
イーサネット	RJ-45 メス×1 (Silver)
スイッチ	
電源	プッシュボタン×1 ロッカースイッチ×1
ビデオ入力ポート選択	ビデオ入力:プッシュボタン×5 ストリーム入力:プッシュボタン×1
ビデオ出力ポート選択	プッシュボタン×3
選択	マルチビュー:プッシュボタン×1 メニュー:プッシュボタン×1 Left:プッシュボタン×1 Up(解除):プッシュボタン×1 Right:プッシュボタン×1 Go Live:プッシュボタン×1 ミュート:プッシュボタン×1 Esc:プッシュボタン×1 Down:プッシュボタン×1 Enter:プッシュボタン×1
ファンタム電源	スライドスイッチ×1
LED	
ビデオ	ソース 1 (HDMI/DisplayPort) : 2 (Green) ソース 2 (HDMI/VGA) : 2 (Green)
ビデオ出力	Go Live: 3 (Amber)
EDID 設定	EDID モード: デフォルト / Display A
電源	
最大入力電源レート	AC100~240V、50~60Hz、1.0A
消費電力	AC100V: 28.5W AC220V: 27.3W

(表は次のページに続きます)

機能	VP2730
動作環境	
動作温度	0～40℃
保管温度	-20～60℃
湿度	0～80% RH、結露なきこと
ケース	
ケース材料	メタル
重量	3.70 kg
サイズ(W×D×H)	432.4×262.8×44 mm
同梱品	IR レシーバー×1 IR リモコン×1 電源ケーブル×1 ターミナルブロック×2 フットパッド×4 クイックスタートガイド×1